

MYU GUIDE 2027



宮城大学 大学案内 2027

Contents

MYU TOPICS

Mission, Philosophy, History

President's Message

Freshman Core Classes

Department Studies

School of Nursing

Nursing

School of Project Design

Business Planning

Regional Sciences

Value-Creating Design

School of Food Industrial Sciences

Integrative Studies of Plant
and Animal Production

Food Science and Business

Global Exchange

Graduate School

MYU CAMPUSES

OPEN CAMPUS 2026

Routes to Campuses



国際情勢の不安定化、大規模な気候変動、加速度的に進む技術革新により
世界が急速に変化し、将来の予測が困難な時代を私たちは生きています。
過去の常識が通用せず、正解のない課題に向き合う社会で求められるのは
自ら問いを立て、ビジョンを描き、未来をデザインできる人材。
宮城大学は開学以来、「高度な実学」を理念に掲げ
看護、事業構想、食産業それぞれの専門性を深めながら
領域を軽やかに横断して新たな価値を生み出す創造性を磨き
地域が直面する課題に取り組む学びと実践の場を提供しています。
不確実な時代を切り拓く総合知と確かな実践力を身につけ
地域から世界へ、希望に満ちた未来を共に描いていきましょう。

Contents

03	MYU TOPICS	18	看護学群	47	国際交流・海外ネットワーク
11	建学の精神・大学の理念・沿革	19	看護学類	48	大学院
12	学長メッセージ	24	事業構想学群		データ（学生数／入学金・学費・奨学金）
13	フレッシュマンコア	25	事業プランニング学類	49	キャンパス紹介
17	学群・学類での学び	29	地域創生学類	50	オープンキャンパス2026・アクセス
		33	価値創造デザイン学類		
		38	食産業学群		
		39	生物生産学類		
		43	フードマネジメント学類		

MYU TOPICS

2025-2026 / MIYAGI UNIVERSITY TOPICS 宮城大学の特色ある学びをご紹介します。



TOPICS 01 クイズ王：伊沢拓司さんが来学／学長とのトークセッション、学生とのオープンディスカッションから宮城大学ならびに学生の可能性を探求

伊沢拓司さん（QuizKnock）が来学されました。佐々木啓一学長が伊沢さんと懇意であり、実現したものです。QuizKnockはクイズで有名ですが、「楽しいから始まる学び」をコンセプトに、エンタメと知を融合させた教育活動をしており、本学の学びに興味を持っていただきました。大階段や図書館などを学生が案内したのち、オープンスタジオ PLUS ULTRA- で学生らと交えた交流を行いました。いくつかの学生団体の活動報告に続き、学長と大学教育の変

化や未来に向けて学生が身につけるべき資質などについて討論され、その後、学生とのフリーな会話を行いました。学長との信頼関係もあって終始和やかに、伊沢さんから自身の経験を交えた今の思い、とりわけ自発的な学びの必要性和、自分で限界を設けないことの重要性、学生が自ら課題探究・解決へ取り組む姿勢へのエールなどが率直に語られました。今後の連携の可能性も示唆され、憧れのリーダー：伊沢さんと有意義な時間を共有できました。

TOPICS 02

奈良県立大と連携プログラム 地域の魅力再発見 学生が商品開発に挑戦

奈良県立大学と宮城大学は、多様な学びの機会を創出することを目的として、2017年に連携協力に関する協定書を締結しました。以来、教育資源などを相互に活用して、活発に活動を行っています。2025年度は宮城大学の学生が奈良を訪問し、奈良県立大学主催の国際交流サマースクールと合同集中講義プログラムに参加しました。学生相互の交流により、奈良や日本の観光、歴史、文化、伝統芸能などについての理解を深めたほか、会場となった御杖村でのグループワークやフィールドワークにより、地域の魅力や特性を踏まえた既存商品の魅力向上の提案や商品開発を行いました。普段とは異なる環境、仲間との経験は学生にとって大きな刺激となりました。



TOPICS 03

ビジネスアイデアコンテスト 「でるコン 2025」を開催 さまざまなアイデアが集結

学生によるアイデアコンテスト「でるコン：出る杭になれコンテスト」を実施しました。2回目の開催となる2025年度は、学群や学年を越えて前年度よりさらに多様な学生が参加し、社会課題の解決や新たなサービスの提案など、創造力あふれる発表が行われました。学生たちの「もっとこうだったらいいな」「こんなのがあったらいいのに」というアイデアを、「ごりっと部門：事業化を目指す総合部門」、「ふわっと部門：事業化までは至らないが、構想を形にしてみるアイデア型部門」として募集しました。21件のアイデアが集まり、最終審査では8組がプレゼンテーションを実施。優秀者は、プラン実現のための活動費を獲得しました。



TOPICS 04

新たな記念品「KANPAI」 3つの技術・素材を活用し 「宮城大学らしさ」を表現

宮城大学は、伝統技法と最新技術を融合させたオリジナル酒器「KANPAI」を制作しました。戦国武将が愛用した「馬上杯」をモチーフとし、仲間と志を共にする器としてデザインしています。杯の部分には事業構想学群の土岐謙次教授らが研究する漆の造形技法「乾漆」を用い、中空構造によって強度や口当たりの良さを実現しました。持ち手には登米市で伐採された広葉樹の未利用材を活用し、持続的な森林環境の整備にも貢献しています。底面には NFC タグが埋め込まれ、スマートフォンをかざすと制作ストーリーを閲覧できます。サステナブルな素材とテクノロジーが融合し、本学のモノづくりへの探求心と地域の魅力が集約された記念品です。



TOPICS 05

「出張オープンキャンパス」を 初開催。模擬講義や学生相談。 大学の魅力を高校生へ届ける

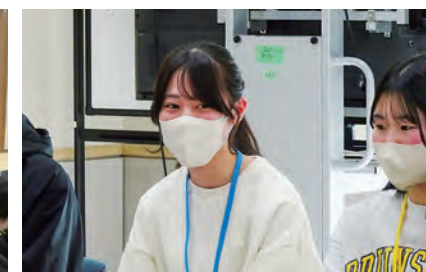
高校教員からの「より多くの地域の高校生が宮城大学の学びに触れることができる機会が欲しい」という要望のもと、教員と学生がキャンパスを飛び出し、「出張オープンキャンパス」を開催しました。初の実施となった 2025 年度は、宮城県白石高等学校を会場に、事前申込のあった高校生およびご家族の約 100 名に参加いただきました。宮城大学の概要説明、3 学群 6 学類それぞれの模擬講義を行い、参加者の興味・関心や進路選択の参考となる機会を提供しました。またサークル・学生団体の紹介や、受験や入学後の大学生活について気軽に質問できる学生相談ブースでは在学生が直接対応を行い、参加者の大学生活への理解を深めることに寄与しました。



TOPICS 06

未来の看護職を目指す 「みやぎプレナースクール」 閉校式で将来の夢語る

宮城県からの受託事業「みやぎプレナースクール」は、未来の看護職を目指す宮城県内在住の中学生・高校生を対象に、看護体験や看護学生との交流の機会を提供するプログラムです。2025 年度は、石巻赤十字病院・看護専門学校での見学ツアー、本学大学祭での AED を使用した一次救命の実技体験などを実施しました。閉校式では、参加者と看護学生が体験を振り返り、看護の魅力や将来の夢について語り合いました。体験を通して、参加者は患者に寄り添う看護師の姿勢や役割への理解を深め、看護師を目指す意欲を高めました。今後も、未来の看護職を目指す若い世代に向けて、多様な体験と交流の場を提供していきます。



TOPICS 07

循環器看護の面白さを現場のリアルから学ぶ 看護学群で体験型プログラムを実施

看護学群学生を対象に「MYU ハートナーシングプログラム」を実施し、循環器看護をテーマに専門医による特別講義や体験型ワークショップを行いました。心臓カテーテル治療や心電図の学習を通して医療現場のリアルに触れ、学生たちは難しいと感じがちな分野を「面白い」「もっと学びたい」と感じるようになりました。今後も、学生たちが「自ら進んで学ぶ楽しさ」を見つけるためのサポートを続けていきます。



TOPICS 08

地域で活躍する看護師と学生が共に学ぶ みやぎテレナース育成プログラム

通院困難や医療資源の不足といった宮城県の課題に寄与するために開始した「みやぎテレナース育成プログラム」。4 年目を迎えた 2025 年は宮城県との連携事業に発展するとともに、在学生も履修できる体制を構築しました。多様な場所で活躍する看護師と学生が 4 か月間にわたって学び合い、遠隔で医療・看護を展開するための知識・技術・判断力を培う。宮城県の未来を見据えた新たなプラットフォームが誕生しました。





TOPICS 09

地域の歴史継承し、劇場の記憶と響き合う アート展「CINE FANTASMA」を開催

閉館した仙台駅東口「チネ・ラヴィータ」の跡地で、事業構想学群中田千彦教授がアート展「CINE FANTASMA」を開催。中田研究室では地域特性に基づいた施設、アートのための空間デザインを研究、実践しています。本企画では、若手アーティストや学生が制作したアートや映像、音のインスタレーションを展示し、失われた劇場の記憶と響きあうアート空間を創出。使われなくなった場所に新たな価値を生み出しました。



TOPICS 10

デザイン思考で挑む「海洋廃棄物」再資源化 台湾・明志科技大学と国境を越えた学びを展開

台湾の明志科技大学と連携し、海洋廃棄物（漁業廃棄物と貝殻）問題をテーマに国際ワークショップを大和キャンパスと気仙沼市で開催、両大学の学生・教員が参加しました。「廃棄された漁網の再資源化」を課題に、フィールド調査、デザイン思考によるワークショップ、成果発表を通して循環型社会に向けた解決策を探究しました。異文化交流と実践的学びを通じ、社会課題に向き合う国際的な学修の場となりました。



TOPICS 11

最新テクノロジーを体験し将来の進路を考える 生成 AI や IoT を活用し「自ら解決する力」を養う

高校生・高専生を対象に、最新テクノロジーを体験し課題解決や将来の進路などを考える「未来志向型アントレプレナーシップ教育プログラム」を実施。ワークショップではドローンやIoT、生成AIを活用したアプリ開発などに挑戦。身近な課題を自分のアイデアで解決するプロセスを、教員や社会人メンターの支援のもと学びました。テクノロジーを社会や将来につなげる力を養い、進路選択にも役立つ学びの場となりました。



TOPICS 12

県内中小企業向け「Downstreamから学ぶDX」 現場の課題から生成AIを活用した解決策を模索

宮城県からの受託事業として中小企業のDX推進担当者を対象にDX人材育成プログラム「Downstreamから学ぶDX」を実施。企画や理想から発想する「上流（Upstream）」ではなく、日々の業務や現場の困りごとといった「下流（Downstream）」からのDXを狙い、参加者は身近な課題から生成AIなどを活用し解決策づくりに取り組みました。成果発表会には、社会人に加え高校生も参加し、世代を超えた学びと交流を実現しました。

TOPICS 13

AKOMEYA TOKYO×宮城大学 地域資源を活かした商品を販売 店頭で商品の魅力を伝える

お米を中心とした食品や食雑貨を展開するライフスタイルショップAKOMEYA TOKYOとの産学連携プロジェクトとして、「食品マーケティング演習」を履修する食産業学群の学生が、宮城県の地域資源を活用した商品の企画から販売までを体験しました。三陸かきを使った炊き込みご飯の素や炙りかつお汁など8つの商品を提案し、仙台バルコで学生自身が接客と販売を実施。3年目となる2025年度は、学生自ら生産者に商品の開発ストーリーを伺うなど、商品提案に活かす情報収集を行いました。生産者の想いや商品の背景だけでなく、地域資源の活用や食文化伝承などを伝えることで、座学のみでは得られない店頭マーケティングの実践を学ぶ機会となりました。



TOPICS 14

利府町とクラフトビールを共同開発 梨園由来の天然酵母を活用した新たな特産品

利府町との連携協定にもとづく産学官連携の取組として、利府町内の梨園の土壌から分離した酵母「利府 No.1」を用いたクラフトビールを共同開発しました。製造には県内のマイクロブルワリーが協力し、洋ナシのような華やかな香りとコクを持ちながら、すっきりとした飲み口に仕上がっています。商品開発では、食産業学群の金内研究室が酵母の分離に関わったほか、ラベルデザインなどにも学生が参画しました。



TOPICS 15

食産業学群教員らが参加の共同研究 世界初！「コケの胞子は宇宙でも生き延びる」

国際宇宙ステーションで実施されたJAXAとの共同研究に、食産業学群の日渡祐二教授と院生が参加し、コケの胞子が宇宙空間で長期間生き延びられることを世界で初めて明らかにしました。本発見は、植物が宇宙空間で生存し得る生理的・物理的限界について新たな知見をもたらし、将来的には宇宙生態系の構築及び長期宇宙滞在に向けた生物ベースの生命維持システム（BLSS）開発の基盤となります。研究成果は、iScienceに掲載されました。

TOPICS 16

三菱地所 × 宮城大学 多世代交流謎解きイベント開催 地域住民と学生が企画・運営

三菱地所・泉パークタウンサービスと学生が連携し、交流拠点「寺岡 Knots」を中心に多世代交流の企画を展開しています。2025 年度は謎解きイベント「テラオカ王国の大冒険!!」を開催。春と秋のアイデア会議や、リハーサルも兼ねて実施した決起集会など、地域住民と学生が約 1 年をかけて企画し、当日は協力して運営を行いました。子どもから高齢者まで幅広い世代が参加し、交流を深めながら地域への想いを共有する場となりました。参加者や住民からも好評を得て、地域住民参加型まちづくりの成果が示されました。さまざまな課題に向き合いながら活動を進めた経験は、学生自身の成長にもつながる貴重な機会となりました。



TOPICS 17

全国の学生クリエイターの頂点へ 「学生広告日本一決定戦」で見事初代王者に

事業プランニング学類マーケティングゼミ所属学生が、全国の学生クリエイターが集う「第 1 回学生広告日本一決定戦」に出場、ストラテジープラン部門で初代日本一に輝きました。「Z 世代の車離れを解決する画期的なアイデア」という課題に対し、マーケティングの視点から社会や若者の意識を分析、ドライブレコーダーに着目したアイデアを提案。企画力や発想力、実践的プレゼンテーション力が高く評価されました。

TOPICS 18

学生サークル「MYUの森」がポッケの森と連携 オリジナルスイーツを献血ルームで配布

太白キャンパスの学生らが参加するエシカルボランティアサークル「MYU の森」は、障害者就労支援事業所「ポッケの森」と連携し、オリジナルスイーツを企画・開発しました。本学坪沼農場産の米粉を使用したクッキーやパウンドケーキは、献血協力者へのお礼の品として献血ルームで配布され、多くの人に温かい気持ちを届けました。学生たちは企画から広報、配布まで主体的に関わり、エシカル消費の大切さを発信しました。



TOPICS 19

宮城大学「娘すずめ。」 球場で伝統の演舞を披露 「東北ろっけんまつり」出演

宮城大学のすずめ踊りサークル「娘すずめ。」が、楽天モバイルパーク宮城（現：楽天モバイル最強パーク宮城）で開催された「東北ろっけんまつり」に出演、正面広場やグラウンドで演舞を披露しました。「娘すずめ。」のメンバーは、仲間と協力しながら練習を重ね、地域のお祭りや国内外のイベント、宮城大学オープンキャンパスなどで、仙台の伝統文化である「すずめ踊り」を多くの人に発信しています。学外での活動としては「東北ろっけんまつり」のほか、2025 年度には、「仙台青葉まつり」、大和町吉岡児童館での「よしおかじどうかんまつり 2025」や岩手県花巻市での「石鳥谷まつり」、など多数のイベントに出演しています。



TOPICS 20

若い世代の創造力を地域に還元 「岩出山タウンアート」で地域活性化モデル提示

大崎市との連携協定にもとづき、岩出山地域で開催された「岩出山タウンアート」において、学生団体 bits がプロジェクションマッピングを実施しました。学生たちは、「岩出山小紋」をはじめフィールドワークを通して学んだ地域の歴史や文化を題材に、商店街の建物をスクリーンに光で描く映像作品を制作しました。若い創造力を地域に還元する取組として、地域活性化のモデルケースとなることが期待されます。



TOPICS 21

学生団体が都市型ロープウェイ勉強会を開催 次世代モビリティと既存交通「共創」の可能性

宮城大学は、地域課題や最新の社会動向を学びに結びつける実践的な取り組みを行っています。これは学生活動にも色濃く反映されています。学生団体 Brush は、富谷市が導入を検討している都市型ロープウェイ「Zippar」に着目、Zip Infrastructure 株式会社顧問の寒竹聖一氏を招いた勉強会を開催。レクチャーとワークショップから、新規事業が既存交通と「共創」することで地域を支える可能性や、社会課題を自ら解決する姿勢を学びました。



ホスピタリティとアメニティの究明と実現

Mission

建学の精神

快い生活環境（アメニティ）に身を置き、
心温まる人間関係（ホスピタリティ）に
囲まれていることは成熟社会に生きる万人の願いであり、
このような地域社会を実現させるために
「ホスピタリティとアメニティの究明と実現」を目指す。

この建学の精神に則り、宮城大学では、社会の要請に応えるために
関連するあらゆる学問や技術の成果を総合化する「高度な実学」
に基づく教育研究を推進することとし、次のように大学の理念を定める。

Philosophy

大学の理念

高度な実学に基づき、
豊かな人間性、高度な専門性及び確かな実践力を身につけ、
グローバルな視点で地域社会の発展に貢献できる人材を育成するとともに、
学術・文化の向上と豊かで活力のある地域社会の形成に寄与する。

豊かな人間性	先人たちの考えや相手の価値観を尊重し、 知性と感性を涵養することで自らの人間性を磨いていく。
高度な専門性	関連するあらゆる学問や技術に関心を寄せ、自らの専門性を高め、 時々刻々と変化する社会にしなやかに、かつ、柔軟に対応できる力を身につける。
確かな実践力	地域に根ざし、グローバルな視点で自ら主体的に考え、 強い意志を持って実践していく。

沿革 History

平成 5 年	4 月	宮城県企画部県立大学設置準備室設置
	6 月	宮城大学創設準備委員会設置
	7 月	宮城県総合計画の戦略的プロジェクトの一つとして、県立宮城大学の整備を明示
平成 8 年	12 月	宮城大学条例制定／宮城大学設置認可
平成 9 年	4 月	宮城大学開学〔看護学部・事業構想学部〕
平成 13 年	4 月	宮城大学大学院（修士課程）設置〔看護学研究科・事業構想学研究科〕 宮城県農業短期大学 4 年制化基本構想検討委員会を設置 （宮城県農業短期大学創立は昭和 27 年）
平成 17 年	4 月	宮城大学食産業学部設置
平成 20 年	4 月	宮城大学大学院（博士課程）設置〔事業構想学研究科〕
平成 21 年	4 月	公立大学法人宮城大学設立 宮城大学大学院（修士課程）設置〔食産業学研究科〕
平成 22 年	4 月	宮城大学大学院（博士課程）設置〔看護学研究科〕
平成 25 年	4 月	宮城大学大学院（博士課程）設置〔食産業学研究科〕
平成 29 年	4 月	宮城大学学部改組により学群・学類制へ移行
令和 2 年	6 月	大和キャンパスにデザイン研究棟を新築

幸福な人口縮小社会をデザインする先鋭的な大学へ

「私はどう生きるのか」。人は皆、常にこのことを問い続けながら、生きています。

今、私たちは、かつて経験したことのない大きな時代の転換点に立っています。大規模な気候変動、国際情勢の不安定化、そして生成 AI に象徴される技術革新の波は、私たちのこれまでの「当たり前」や価値観を根本から揺さぶっています。

この不確実な VUCA の時代において、大学とは何を成すべき場所なのでしょうか。かつての大学は「正解」を教える場であったかもしれませんが、しかし、知識の検索や整理を AI が担う現代において、学びの意味は劇的に変化しました。

これからの時代、社会が私たちに最も求めるものは、単なる知識の習得ではなく、生涯にわたって能動的に自分をアップデートし続ける姿勢、そして自分自身の意志で「問い」を立て、解決する力です。大学での最も重要な学びは、これらの姿勢、力を身につけること、そのための学び方を学ぶことではないか、と私は考えています。

宮城大学が 1997 年の建学以来掲げてきた「高度な実学」の本質は、専門的な知識、技術の修得にとどまらず、学問の枠を超えた広範な実践的知識、すなわち「総合知」にあります。本学の学び、研究は、常に社会や地域と密に繋がっています。現場で得られる「生きた知恵」や「重層的な視点」こそが、AI には代替できない、人としての揺るぎない基盤とな

ります。多様な価値観を統合して課題を俯瞰し、解決策を導き出す「確かな実践力」こそが、本学の特長です。

宮城大学は今、さらなる進化の途上にあります。私たちは現在、学群を再編・強化する大学改革を検討しています。その核となるのが、「デザイン思考」により未来を構築し、社会を変革するフレームであるデザイン創学です。これからの社会では、単に問題を解くこと以上に「どのような社会を創りたいか」というビジョンを自ら描き、具体的な政策や事業として形にするデザイン力が不可欠です。私たちは、看護、事業構想、食産業といった専門領域をさらに深めつつ、それらを横断して新たな価値を創出する新学群の設置、GX など地域課題に直結した副専攻の開講やカリキュラムの改革を視野に入れています。この改革により、宮城大学は「地域の課題を解決する場」から、さらに一歩進んで「未来社会をデザインする先鋭的な知の拠点」を目指します。

宮城大学は、在学する学生に対する教育はもちろんのこと、小中学生、高校生への入学前教育から、社会人を対象としたリカレント教育まで、人の生涯基軸に沿った教育を展開しています。今後は、さらにこれを進展させ、地域における「生涯を通しての学びの場」として構築していきます。地域、社会の皆様には、今後とも幅広いご支援をいただけますよう、お願いいたします。

学長 佐々木啓一



1・2年次で学ぶ基盤教育の主要な科目群

フレッシュマンコア

[全学群共通：必修]



「フレッシュマンコア」科目で大学での学びの基礎を築きます
強固な知的基盤の上に専門の学修を積み上げましょう！

技法知

リテラシー

全ての基盤となる
言語スキル、数量スキル、情報スキルを
身につけます。

学問知

知識×考え方

基本的なトレーニングを通して
思考力を高めます。

実践知

実践力

「自己理解」「他者理解」を
深めながら実践力を養います。

フレッシュマンコアとは、1・2年次で学ぶ基盤教育の主要な科目群であり、
全学共通の基盤教育必修科目群です。

豊かな人生を送る上で必要な「技法知」「学問知」「実践知」を養います。

専門分野への学びに繋げていくだけに留まらず、その先を見据え、

自分の未来を切り拓いていくための指針を、

フレッシュマンコアを中核とする基盤教育を通して身につけていきます。

解く人から「問う人」へ ―生涯の学びの基盤を築く―

大学では「答えのない問題に取り組む」みたいなことがよく言われます。でも「答えのない」ってどういうことでしょうか？（だって、言葉通り「答えがない」だけなら、ちょっとやる気の出しようがないですよね？）。言わんとしている大事なことの一つは「答え合わせが出来るような回答集がどこかにあるわけではない」ということだろうと思います。その意味では大学は確かに「答え」を自ら見いださなければならない未解決の問題領域の最前線に立っており、また社会的にもそのことが求められています。だから、私たち大学人は大学を目指してくれる皆さんのことを、そのような問題を一緒に考えてくれる「チームメイト（になる人たち）」としても見ているのです（これは忘れないでください）。さらに、私たち大学人が日々本当に向き合っている問題は単に解けていないだけでなく、「そもそも設定すらされていない（なんかうまく行っていないんだけど、なにを問うべきかまだ分かっていない）」問題なのです。つまり、大学で行われているのは、問いを立てることで解決に向けたアクション自体を可能にしていく真にクリエイティブな営みなのです！ここまでお読みいただけたら、大学での学びはなんか高校までとは違うみたいだぞ？？ということがお分かりいただけると思います。自分にも出来るのかな？？という一抹の不安とともに…ご安心ください。宮城大学では「基盤教育科目」を用意して、「地域フィールドワーク」「学外研修」など社会で生まれる「問い」からも直に学ぶ＝まねぶことができる工夫をこらしつつ、用意された問いを解く人から「問う人」への皆さんの成長に伴走していきます。目指しているのは、卒業後も成長し続けられる＝問い続けられる生涯にわたる学びの基盤整備です。



基盤教育群長 茅原拓朗教授

幅広く、そして偏りなく、多様な学びを積み重ねていきます

4年間は長いようで、あっという間に過ぎてしまいます。4年後の成長した自分をイメージして大学生活をスタートさせることが重要です。受験勉強とは違う大学での学びの作法を身につけることと、自分と社会を見つめることで自分の将来に見通しを持ち、自身の大学での学びの意義づけを自ら行う必要があります。そのためにフレッシュマンコアがあります。



スタートアップセミナー I・II

宮城大学での学びの基礎を確立する導入科目です。大学の学びに必要な知見やスキルを講義形式で学び、学群ごとの少人数ゼミ形式で演習やグループワークを行い、実践的に身につけます。また、卒業後にも必要な汎用性の高い知見、態度の涵養とスキルの習得を目指し、自分自身の現在・過去・未来につながるキャリアデザインを考えていきます。



コンピューターリテラシー 情報化社会と技術 基礎統計学 I・(II)

現代社会において、AIやビッグデータを活用する知識やスキルは必須となりつつあります。これらの科目は全学必修科目として、その基礎的な理論や技法を、情報科学やコンピューター工学、統計学といった学術的な視点から学んでいきます。道具としてコンピューターやネットワークを使いこなし、さまざまなデータに対して正しい知識と解析技術をもって妥当な解釈を得る能力を身につけます。



Student Voice

言葉にする力を磨いた1年

フレッシュマンコアでは、自分の考えを言葉にして表現することを学びました。スタートアップセミナーでは、チームでの話し合いを通して考えを共有し、個人でプレゼンを行う機会や授業後に学んだ内容をまとめる機会もありました。高校生の頃より自分の考えを表現し、他者に伝える機会が増え、伝える難しさと向き合う経験になりました。1年次のフレッシュマンコアでの学びを通して、大学入学前にはあまり関心がなかった分野にも関心を持つようになりました。今後も興味の幅を広げながら、ここで鍛えた「言葉にする力」を活用し、専門的な知識の理解に努めていきたいです。

遠見佳穂さん(看護学群) 仙台市立仙台青陵中等教育学校出身



地域フィールドワーク

地域社会について座学を中心に学びつつ、グループ単位のフィールドワークで地域課題の発見とその解決に取り組みます。地域に関する知識やフィールドワーク手法の習得だけでなく、地域社会の将来に対する学生の使命感を涵養し、主体的な学びへと促すことも目的の一つです。

1. 講義

初回講義では、フィールドワークの位置づけや意義を確認し、訪問時の心構えやマナー等のリテラシーを習得します。

2. グループ演習

事前にヒアリングの練習を実施した上で、グループ単位で各訪問先を訪れ、ヒアリングとフィールドワークを実施します。

3. フィールドワーク

グループに分かれて、訪問先の方から地域の特徴や見所を解説していただくなど、地域に関する知識や理解を深めます。

4. グループ演習／発表

フィールドワークの背景、目的、調査結果、分析をまとめた成果物を作成し、学生相互に発表して意見交換を行います。

Student Voice

地域に足を運び、学びを自分の力に変える

地域フィールドワークでは、地域の雰囲気や人、観光地に直接触れ、座学だけでは感じることでできない地域の生の声に触れることができました。良いところだけでなく課題も肌で感じられた貴重な機会でした。この経験から、実際に足を運ぶことの大切さを学び、地域を自分事として考える視点も広がりました。座学による理解にとどまらず、行動を起こし全身で体験することで学びを血肉にしていく。その意識を持ってこれからの学びに取り組みたいです。1年次のフレッシュマンコアで学んだ内容は、2年次以降の学びだけでなく、卒業論文や卒業後の人生にも活かせる内容だったと感じています。

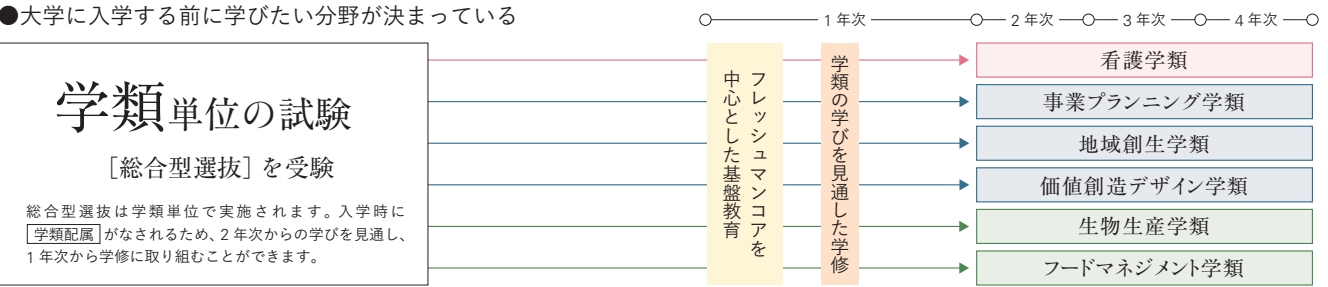
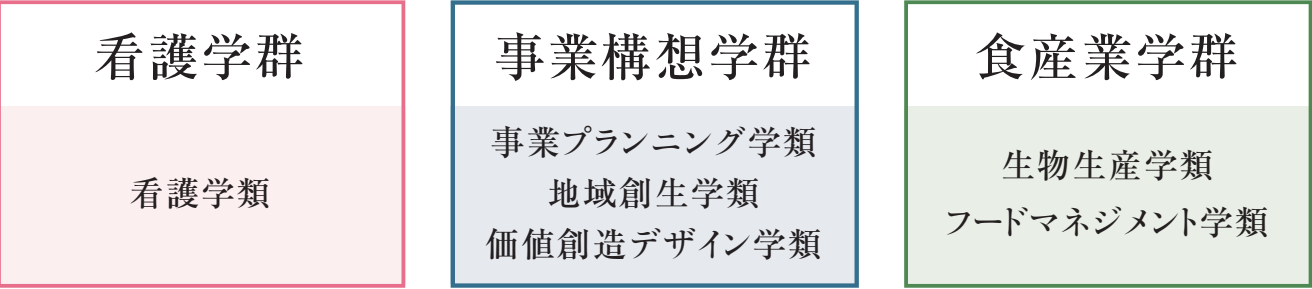
稲村龍之介さん(事業構想学群) 仙台第一高校出身



学群・学類での学び

宮城大学では、2017 年度入学者より、学群・学類制による新たな教育を展開しています。このことにより、学類の垣根を越えてバリエーション豊かな専門教育が受けられるようになりました。
また、入学者の募集単位も「学群単位」「学類単位」の2つを設定しています。

一般選抜と学校推薦型選抜は、「学群単位」の募集となりますので、事業構想学群と食産業学群の学生は、入学後 1 年間をかけてじっくりと自らが進む専門分野（学類）を選択し、1 年次の終わりに所属する学類が決定されます。（看護学群は 1 学類のため、全員が看護学類で学ぶこととなります。）



看護学類



Learn Nursing and Develop Your Future.

人と社会の健康課題を解決に導くために、

科学的思考に基づく看護実践力を身につけ、

看護を思考し自分の将来を切り拓く力を持つ人材を育てる

保健医療福祉の幅広い分野で社会に貢献できる看護職を目指して

看護学は、人間と環境との相互作用から対象となる人を捉え、個人・家族・集団・地域を対象に、人々の健康を包括的に支援するための実践科学です。看護は、すべての人間の尊厳と自律を尊重し、生活の質（QOL）の維持向上をめざします。1年次から、基盤教育科目に加え、講義、演習、実習を通して、看護学を体系的に学修します。また、社会の多様な健康ニーズに応えられるよう、

保健師と養護教諭の養成課程も設けています。さらに、国際看護プログラム、災害看護プログラムを設けており、幅広い視野で看護を学ぶことができます。4年間の学修を通して自らの可能性を拓き、保健医療福祉の幅広い分野で社会に貢献できる看護職となれるよう、一緒に学んでいきましょう。



看護学群 副学群長
花里陽子教授

看護職として社会で活躍できるように、キャリア形成の基盤を総合的にサポート



看護の基本的な技術を学修するためのナースィング・ラボ



看護学類 鈴木康太さん
秋田県立秋田南高校出身

Student Voice

実践環境で磨く看護の力と人間力

宮城大学の看護学類では、充実した学修環境のもとで、看護師に必要な知識と技術を実践的に学ぶことができます。講義で学修した看護技術は、ナースィング・ラボで自由に練習することができます。実践的な技術に磨きをかけることができます。少人数のグループ演習では、学生同士や教員と意見を交わし、多角的な視点から問題解決に向き合う力を養っています。

災害看護プログラムでは、地域の方々との交流を通して災害時の対応を学び、地域に根ざした看護の在り方や役割についても考える機会となっています。将来は総合病院で患者一人ひとりのニーズに応じたケアができる看護師を目指しています。この恵まれた環境で人間力を高めながら、時代の変化にも柔軟に対応できる実践力を身につけていきたいです。



看護師国家試験合格率
(第115回:全国平均 94.1%) **100%**

看護師国家試験受験資格

看護師国家試験を受験することができる資格です。国家試験に合格することで看護師として働くことができます。看護師は多様な場における保健・医療の第一線で活躍し、予防、治療、回復過程にある人々、そして病気と共に生きる人々が、その人らしく生活し、生きることを支える役割を担っています。

保健師国家試験合格率
(第112回:全国平均 89.9%) **100%**

保健師国家試験受験資格

保健師国家試験を受験することができる資格です。保健師は、家庭訪問や健康相談、健診などの保健事業により、一人ひとりの健康生活への支援を行います。また、地域や組織の健康課題の解決に向けて、地域の人々や関係機関と協働して健康なまちづくりや組織づくりを目指して活動しています。



Qualifications

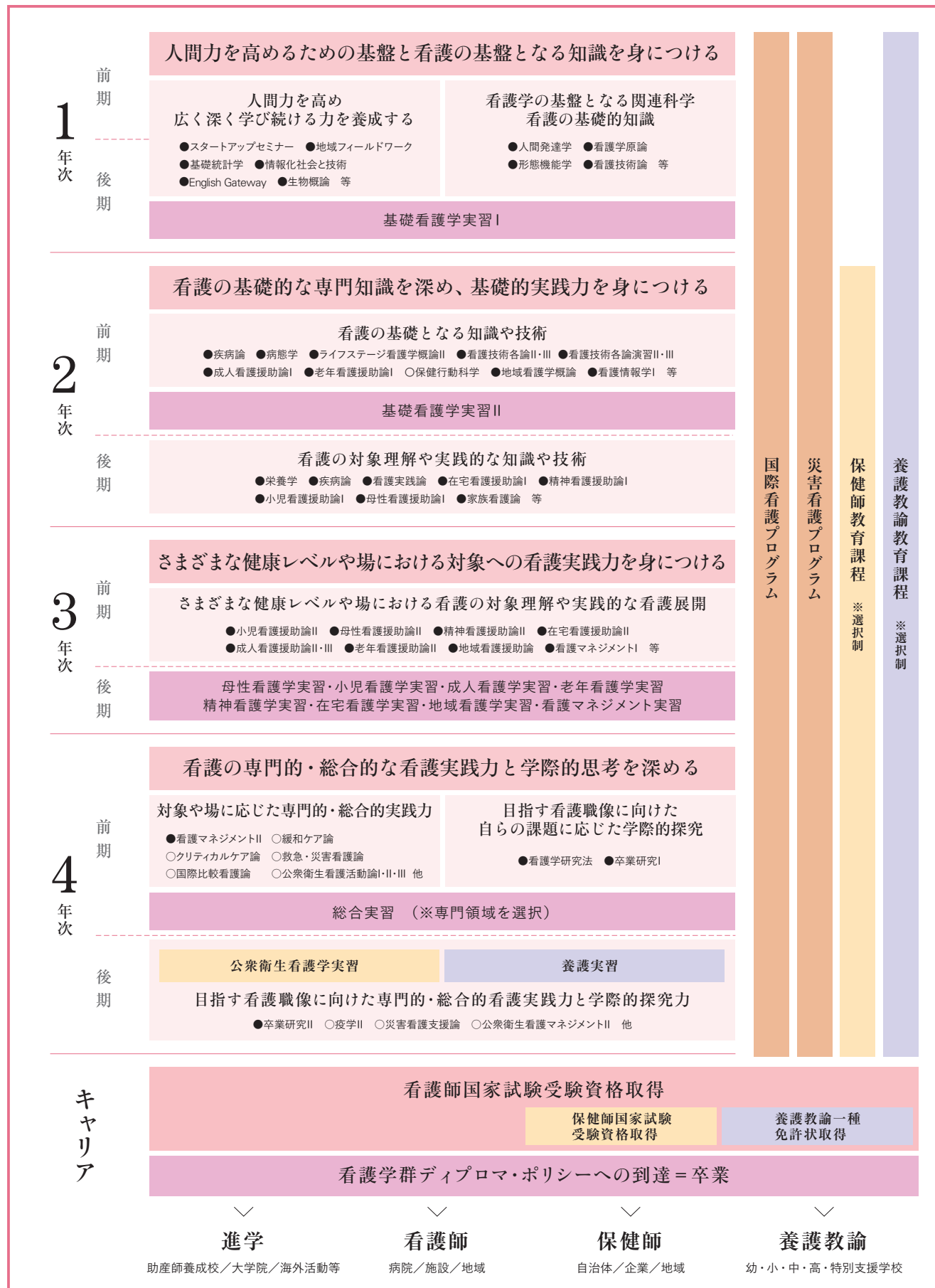
【資格取得について】

養護教諭一種免許状

幼・小・中・高等学校・特別支援学校において、児童・生徒の心身の健康管理を行うと同時に、学校の保健教育の担い手にもなっています。いわゆる「保健室の先生」です。

※保健師国家試験受験資格と養護教諭一種免許状は選択制です。いずれか一方を選択できます。

看護学類：4年間の学び



社会で活躍する卒業生

地域に寄り添い
住民の健康を支える

大和町健康推進課

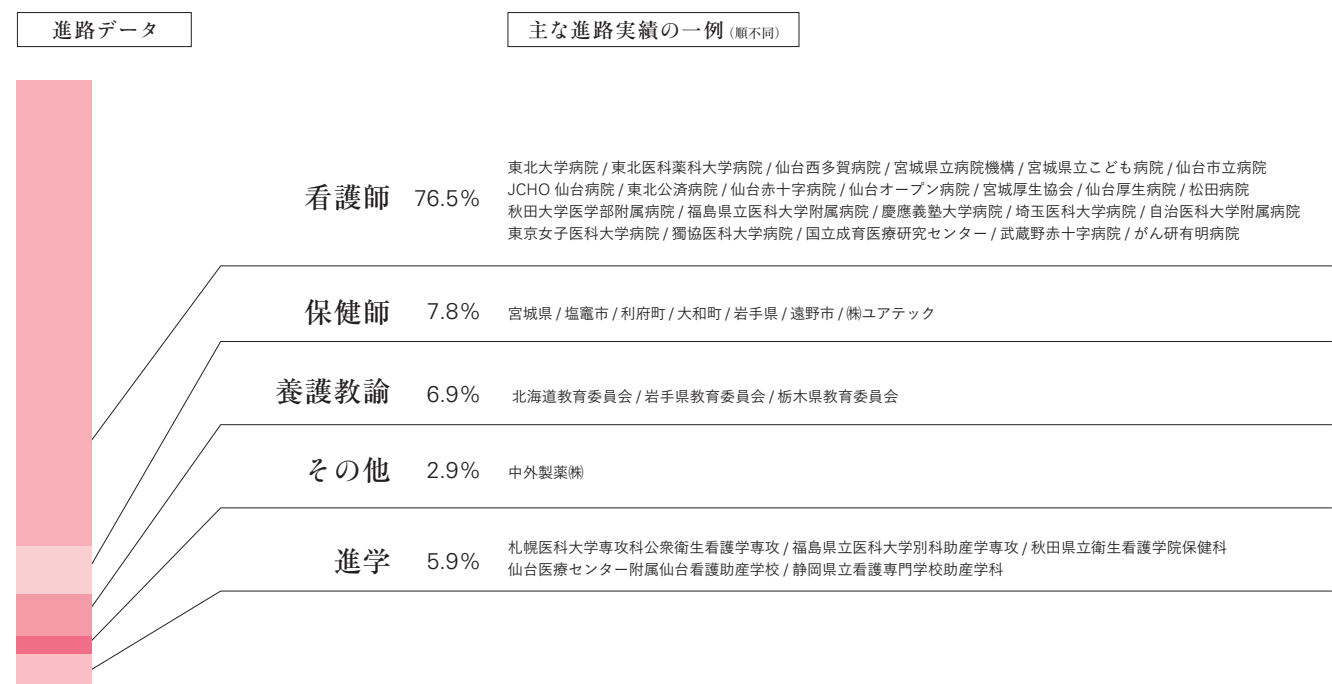
母子保健係

高田亜有さん（2022年3月卒業）

保健師として母子保健係に所属し、乳幼児健診や事業の運営、地区担当ケースの支援、新任保健師の指導にもあたっています。住民から直接感謝の声を聴けることや、一緒に悩み考え前向きな変化につながったときにやりがいを感じます。また日々の業務を通し、できることが増えることに喜びを感じています。実習先の病院や地域が多く、地域に根差した学習ができると感じ宮城大学を選びました。演習や実習が充実し、専門的な知識を体系的に学べることが魅力です。看護学で学んだ個別支援の視点と保健師課程で学んだ地域全体を見る視点の両方が、現在の支援に生かされています。実習で学んだ「丁寧に傾聴して支援すること」「生活背景を踏まえた支援を行うこと」は家庭訪問や住民相談の中で欠かせないものです。一人ひとりに合った支援ができるよう、今後も専門知識を深め、地域や住民に貢献できる保健師を目指します。



進路データ



進路データは、2026年3月31日現在 小数点以下第2位を四捨五入

MYU LEARNING COMMONS

対話的かつ主体的な学びを。新しい学修スタイルに対応するラーニング・commons



大学で「学ぶ」ことは、教員の「Teaching」を受けるのみならず、自ら深めて学ぶ「Learning」を通して達成されます。こうした対話的かつ主体的な深い学び（アクティブ・ラーニング）に授業以外の時間を利用して取り組む空間が、ラーニング・commonsです。

「スチューデントcommons」は、机や椅子を自由にレイアウトでき、軽食をとりながら、規模を問わずミーティング等をいつでも気軽に行うことができます。海外留学や語学試験などの相談もできる「グローバルcommons」は、英語をはじめとした語学教材や海外放送、海外雑誌が揃っており、異文化に触れたい人や、留学生に最適な場所です。

「ディスカバリーcommons」は、約13万冊の蔵書を誇る図書館で、学生同士のミーティングやイベントを開けるスペースがあります。「データ&メディアcommons」には、パソコン学修を想定して各机にコンセントが配置された少人数学修空間「オープンスタディ」、多様なPCソフトウェアなどが使用できる「デジタルリサーチ」のほか、各キャンパスの学びに合わせたデジタル機器空間や、パソコンの相談ができる「サポートオフィス」があります。

学ぶ意欲のある学生が、学生同士で学びあえる空間がラーニング・commonsです。目的にあった環境を見つけ、「Learning」のための居場所にしてください。



事業構想学群

事業プランニング学類 入学定員 60名

地域創生学類 入学定員 60名

価値創造デザイン学類 入学定員 80名

入学者に求める能力

事業構想学群では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

- (1) 地域社会の動向や時代の流れに興味を抱き、自ら問題を発掘し、論理的に考え、表現することを学ぶための基礎的な学力を有する人
- (2) 大学での勉学に対する強い意欲を持ち、高度な知識とスキルを身につけることによって具体的な行動をともって地域社会の課題を主体的に解決し、貢献することを目指す人
- (3) 事業構想（プロジェクト・デザイン）の分野でイノベーションをデザインすることにより、来るべき社会における新たな展開に貢献することを目指す人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

事業構想学群では、現代社会の諸課題を多角的・グローバルな視点で論理的に捉え、その課題解決に向けた事業を実行可能かつ持続可能なものとして構築する能力を身につけるとともに、地域資源の活用や新たな価値創造を志向し、産業、行政、社会の各分野で先導的役割を担える人材の育成を目指しています。

めざせる資格・免許等

- 簿記検定 ●公認会計士 ●税理士
- 技術士 ●防災士 ●中小企業診断士
- ITパスポート試験 ●WEBデザイナー
- 建築士 ●インテリアプランナー

社会保険労務士／司法書士／宅地建物取引士／総合旅行業務取扱管理者／基本（応用）情報技術者／統計検定／銀行業務検定／色彩検定／マルチメディア検定／CGクリエイター／CGエンジニア／画像処理エンジニア／福祉住環境コーディネーター／認定ファシリティマネジャー等
※めざせる資格は学類ごとに異なります。

未来志向で新たな事業を創造する力を身につけよう

事業構想学の使命は、未来志向で新たな事業を創造していくことです。デジタル技術の進化とグローバル化、それに加えて地球環境問題の進展は、社会システム全体を大きく変革しようとしています。また、少子高齢化や度重なる自然災害は、地域が抱える課題をますます深刻なものにしています。このような社会情勢や技術進化を的確に捉え、社会や人々の課題やニーズを把握し、将来を見据えた新しい事業を描き、実現していく力が求められています。事業構

想学群では、事業プランニング、地域創生、価値創造デザインの3つの視点から、未来を志向した新しいビジネスモデルや地域づくり、生活環境、情報コミュニケーションをデザインするための知識・技術を身につけるとともに、事業を構想するために必要な分析力や発想力を培います。宮城の地をフィールドとして、事業構想学を学び、未来の事業のあり方についてともに考えていきましょう。



事業構想学群 学群長
蒔苗耕司教授

事業プランニング学類

入学者に求める能力

新たな発想に基づき、実行可能な計画をまとめ上げることに強い関心を持ち、その際に必要となる情報・データの読解、論理的な思考や表現の方法を学ぶための基礎学力を有する人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

現実の社会で顕在化している諸問題を分析し、新たなビジネスモデルの構築と運営できる能力（事業プランニング力）を育成します。

地域創生学類

入学者に求める能力

多様化・複雑化する地域社会の諸問題に対して強い関心を持ち、その課題解決に向けて思考・分析を行うとともに、地域活性化を目指すまちづくりや産業育成、それを動かす人・組織のデザイン、そして持続可能な環境に関する理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

現実の社会で顕在化している諸問題を分析し、地域資源を活用することで新たな地域を創生する能力を育成します。

価値創造デザイン学類

入学者に求める能力

人間感性や地域風土に根ざしたデザイン原理や、人々の生活の場である建築・街・インテリアなどの空間や情報コミュニケーションをデザインする理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

人間の感性や地域の資源に応じた新しい価値を創造できるサービス・生活環境・製品（ものづくり）を探究創造する能力（価値創造デザイン力）を育成します。

事業プランニング学類



From Idea to Action in Business.

大きく変わりゆく社会。大きく進化する技術。

そんな時代にも、ビジネスという領域で新しい価値を創造するため、

大きな発想を描く力と、それを計画・実行に落とし込む手法を学びます

社会を変える覚悟はあるか。自分が変わる覚悟はあるか。

世の中に新しい価値を生み出す人材になるためには、人並みの努力では足りない。

限界を超えるほどの努力をし、これまでの自分をアップデートし、

自分が変わる覚悟があるか。

そして、誰よりも多くの体験を手にして、誰よりも多くの仲間と想いを共にして、社会の一部を変えていく覚悟があるか。

その覚悟あって初めて、大学で学ぶことが人生の役に立つということを忘れるな！



事業プランニング学類 学類長
高山純人准教授

事業創出に向けて専門領域を深める学び



価値創出とイノベーションの実践的思考 ビジネスプロセス論

企業や組織の活動を支えるビジネスプロセスを軸に、業務の仕組みと価値創出の関係を体系的に学びます。ビジネスプロセス・アウトソーシング (BPO) やデジタル・トランスフォーメーション (DX) などの事例はもちろん、ビジネスモデルの考え方やサービスデザインの手法、さらにはサービス・ドミナント・ロジック (SDL) やジョブ理論などのサービスやイノベーションに関する理論的な枠組みについて理解を深め、実務や起業に役立つ、業務改善やイノベーションにつながる実践的な思考力の養成を目指します。



金融で読み解く、社会とテクノロジーの最前線 金融論

私たちが日々使っている「お金」は、どのように生まれ、どのように社会を動かしているのでしょうか。本科目では、株式市場や資産運用といった基礎的な金融の仕組みから出発し、貨幣の本質、銀行や政府の役割、さらにはビットコインやブロックチェーンといった最先端の技術までを扱います。数式やデータも用いながら、金融を単なるお金の知識ではなく、社会・技術・思想をつなぐ学問として学びます。変化の激しい時代を読み解くための、現代的な金融リテラシーを身につけることを目指します。



柏木彩希さん
青森県立八戸高校出身

Student Voice

ビジネスを横断的に学び、実践へ

会計や統計、経済学、マーケティング、経営など、ビジネスに必要な知識を幅広く学んでいます。グループワークや実践的な課題に取り組む中で、知識を活用する力も身につけてきました。現在は社会関連会計学を専門とするゼミに所属し、実務経験豊富な教授のもとで専門性を高めています。

主な学べる分野

経営財務・金融／経営学・組織論／
経営戦略／法学／経済学／会計学／
マーケティング／社会システム／
社会調査／ビジネスと先端テクノロジー



内田直仁研究室

利潤追求と社会責任の一致を探る

倫理のない経済は犯罪、経済のない倫理は戯言と二宮尊徳は説きました。正当な利益を獲得し続けることは、持続可能な社会の前提です。社会関連会計学で、その普遍性と先端事例を学びます。



高山純人研究室

講義で学んだものを、実践へ

実践、行動、挑戦。マーケティングゼミでは理論はもちろん、それを行動に移したかどうかを重要視しています。成功したかどうかではなく、挑戦したか、最後までやりきったのか。それを楽しんでください。

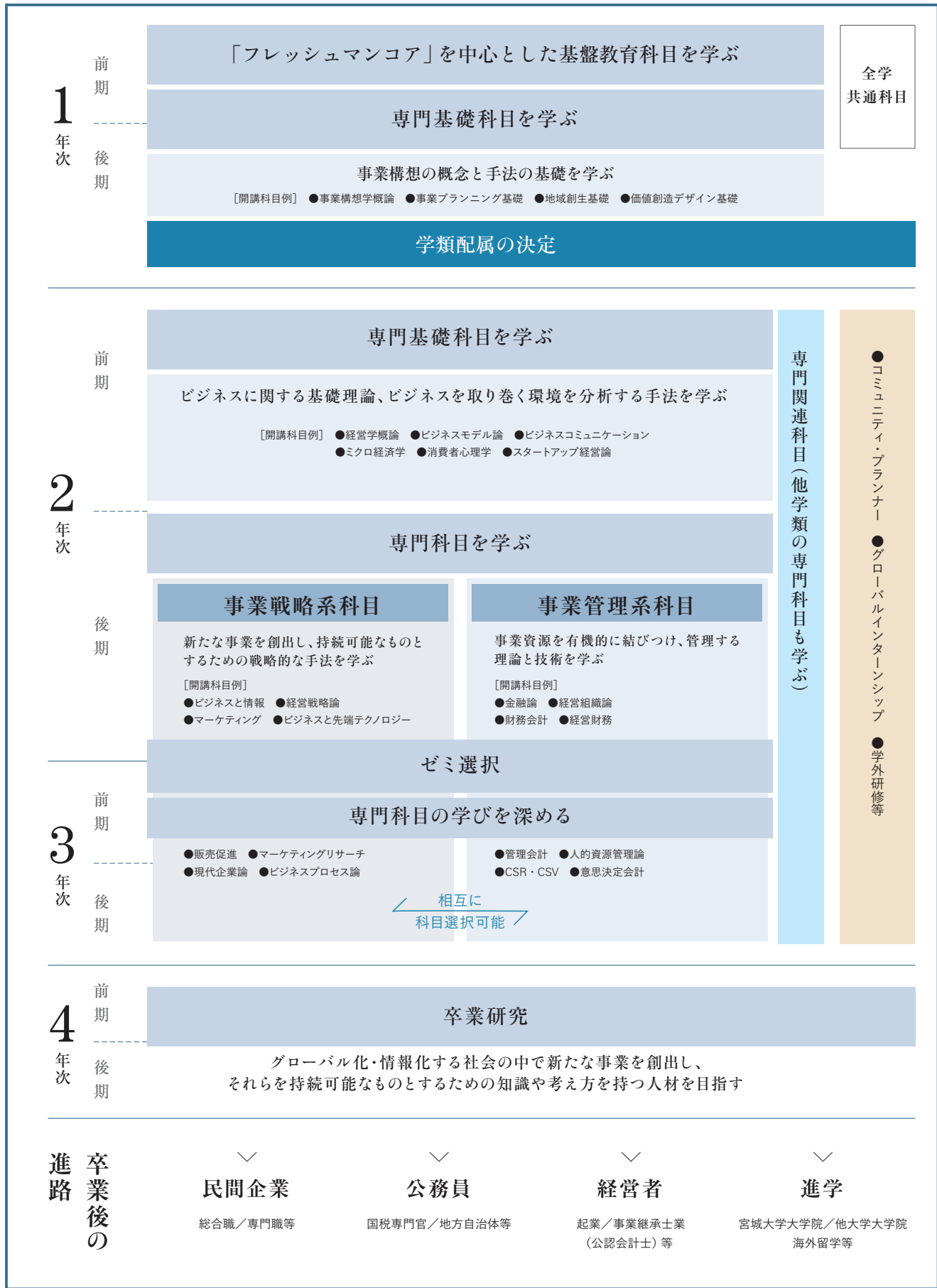


金子浩一研究室

経済理論を踏まえた市場の分析

ミクロ経済学を中心に経済理論を修得しつつ、理論書とは様相の異なる現実の市場の実態も分析します。企業へのインタビュー調査などを通し、実学に基づく考察も深めていきます。

事業プランニング学類：4年間の学び

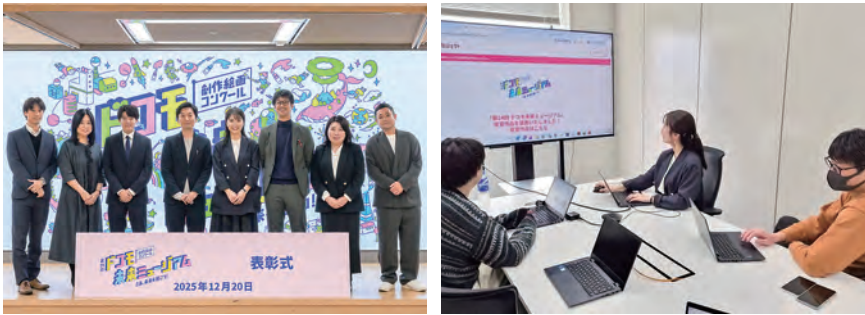


社会で活躍する卒業生

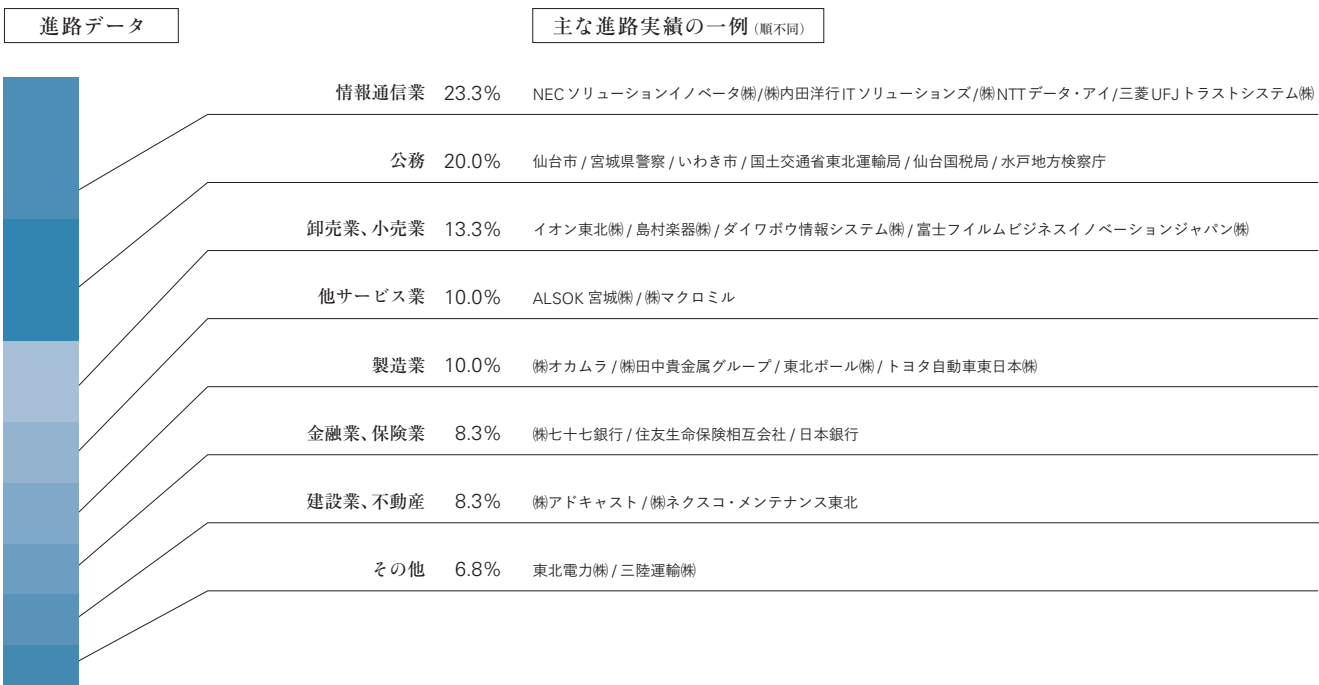
ブランドの力で 社会に新たな価値を届ける

株式会社NTTドコモ
ブランドコミュニケーション部
梅津舞さん（2020年3月卒業）

ブランドコミュニケーション部で、若者向けのSNS施策や、子どもの創造力を育む創作絵画コンクール「ドコモ未来ミュージアム」の企画・運営に携わっています。やりがいを感じるのは、考え抜いた取り組みに対して、お客さまから感謝の言葉や反応をいただける瞬間です。宮城大学へは、「事業構想学部」という学部名に惹かれ、社会に新たな事業や価値を生み出す思考力や実践力を学べると知り、入学を決めました。一人ひとりに寄り添った丁寧な指導を受けられることや、地域課題を起点に主体的な学びを深められる充実したカリキュラムが魅力です。チームで課題に向き合い、対話を重ねながら解決策を検討していくプロセスは、社会人としての業務の基礎そのものだと感じています。また、金融ゼミで培った資料づくりやプレゼンテーションの経験も大いに役立っています。今後もさまざまな業務に挑戦しながら、自分が「楽しい」と感じる道を歩み続けていきたいです。



進路データ



進路データは、2026年3月31日現在 小数点以下第2位を四捨五入

地域創生学類



Creating Sustainable Communities.

頻発する災害や人口減少など、地域におけるさまざまな課題をいかに解決していくか

多様化する社会や価値観の中で、あらゆる地域課題の解決に向けた事業創造や政策立案、

それらの根拠となる科学的分析手法を学び、社会に貢献することができる人材を育てる

新しいことに挑戦する精神と能力を育む

自分が育った地域の商店街が寂れているので元気にしたい。都会で育ったけれど、祖父母が住んでいる地方に魅力を感じるのそこで何かをしたい。年配の人に歴史を教わり、自分が育った地域の魅力に気がついた、世界に向けてその魅力を発信したい。そんなことを考えている人にはこの学類がおすすめ

めです。座学からは、現代社会が抱える多様な地域課題の解決に向けた事業創造や政策立案、科学的な分析手法の知識を修得します。フィールドワークやゼミ活動からは、実体験とふりかえりにより実践的なスキルと深い知識を修得するとともに、新しいことに挑戦する精神と能力が育まれます。これが地域創生学類の強みです。



地域創生学類 学類長
千葉克己教授

フィールドワークを通して、地域課題の解決をより実践的に学ぶ

地域資源マネジメント研究室（佐々木秀之）

コミュニティ・デザインによる事業創造 持続可能な地域経営モデルの構築

地域資源マネジメント研究室では、地域共生プランニングの視点から、自治体や企業など多様なセクターと連携し、地域資源を活用したプロジェクトの実践を通して、持続可能な地域経営の手法に関する研究を行っています。研究室では、ナラティブ・アプローチによる地域資源調査を行った上で、それぞれの地域の実情に応じた事業モデルの構築と提案を行い、その成果を広く社会に還元しています。協働・共創を生み出す場となるコミュニティ・プレースの形成、地域資源を活かした地域ブランド開発など、プロジェクトベースでの活動から、地域の課題解決の実際を実践的に学びます。



環境地理学研究室（高橋信人）

俯瞰的に地域風土を捉え、あるべき未来の姿を考える

環境地理学研究室では、地域の自然環境や人びとの暮らし・活動が空間的にどのように広がり、時間とともにどう変化してきたのかに注目し、その特徴を俯瞰的視点から定量的に明らかにすることをめざします。そのために、自然・社会を構成する諸要素の関連性を多角的に検討し、分析に用いるデータを見極めたうえで地理情報システム（GIS）を活用して地図やグラフに可視化し、地域の特徴を読み解きます。これらを通じて、地域課題の解決につながる視点や潜在的な強み・価値を見だし、地域風土のあるべき姿と将来像を探ります。



那波絢音さん
宮城県宮城野高校出身

Student Voice

地域に入り込み、実践で学ぶ

段階的に深まるフィールドワークが魅力です。1・2年次は基礎、3年次は学生主体で地域に出向き、実践的なプロジェクトに取り組みます。私は大和町の住人に焦点を当てた雑誌制作を行い、地域への入り方やチーム協働力を身につけました。将来は地域に根ざし、住みたいと思えるまちづくりに関わりたいです。



社会起業論

ソーシャルアントレプレナーによる社会変革

社会の課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネスについて学びます。社会起業家のビジネスモデルやマインドセットを知り、テーマ別に課題解決策をみていきます。



ウェルビーイングデザイン

人と社会の良い状態をデザインする

現代社会において、個人と社会の良い状態を問い直すことが重要です。ウェルビーイングの概念を学び、理論と実践を通して人と社会のウェルビーイングをつくる力を養います。



水士環境技術

自然が持つ多様な機能を知る

水理と土質に関する基本的な知識を修得し、自然が持つ多様な機能の理解を深めるとともに、それらを活用した持続可能で魅力ある都市・農村・森林のインフラ整備や防災・減災のあり方を考えます。

地域創生学類：4年間の学び

Curriculum【4年間の学び】

1年次

前期

「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ

後期

専門基礎科目を学ぶ

事業構想の概念と手法の基礎を学ぶ
【開講科目例】 ●事業構想学概論 ●事業プランニング基礎 ●地域創生基礎 ●価値創造デザイン基礎

学類配属の決定

2年次

前期

専門基礎・専門基幹・関連科目を学ぶ

後期

社会の仕組みを理解し、人々の意識・行動特性を分析する手法を学ぶ

学類共通・専門基礎科目
【開講科目例】 ●データサイエンス ●応用統計学 ●地域学 ●地域実践演習

専門基幹科目
【開講科目例】 ●行政学 ●地域調査法 ●国土・地域計画 ●公共経営 ●災害の科学(土) ●地域組織論 ●地域資源論 ●ソーシャルビジネスプロデュース ●コミュニティビジネス ●ローカルベンチャー論 ●コミュニティ・プランナー実践論 ●環境地理学 ●ポランティア論 ●評価論 ●防災計画

ゼミ選択

3年次

前期

専門科目の学びを深める

後期

学類共通・専門基礎科目
【開講科目例】 ●キャリアデザイン

専門基幹科目
【開講科目例】 ●災害の科学(水) ●グローバル共生論 ●地域産業政策 ●地域環境政策 ●地域環境計測 ●地理情報分析 ●ツーリズムデザイン ●景観工学 ●社会起業論 ●農業農村振興論 ●ソーシャル・キャピタル ●政策実証分析 ●地域復興デザイン ●レジリエンスとビジネス ●コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習

4年次

前期

卒業研究

後期

科学的なアプローチで地域課題を明確にし、
都市・農村政策や協働のまちづくりを通して、地域活性化に貢献できる人材を目指す

進路

卒業後の

総合職
観光／インフラ
住宅・不動産／IT・通信等

公務員
国家／地方

進学
宮城大学大学院／他大学大学院
海外留学等

全学
共通科目

●コミュニティ・プランナー
●グローバルインターンシップ
●学外研修等

社会で活躍する卒業生

森林の多面的機能を活かし
地域の未来を守る

宮城県北部地方振興事務所
林業振興部
酒井梨玖さん(2025年3月卒業)

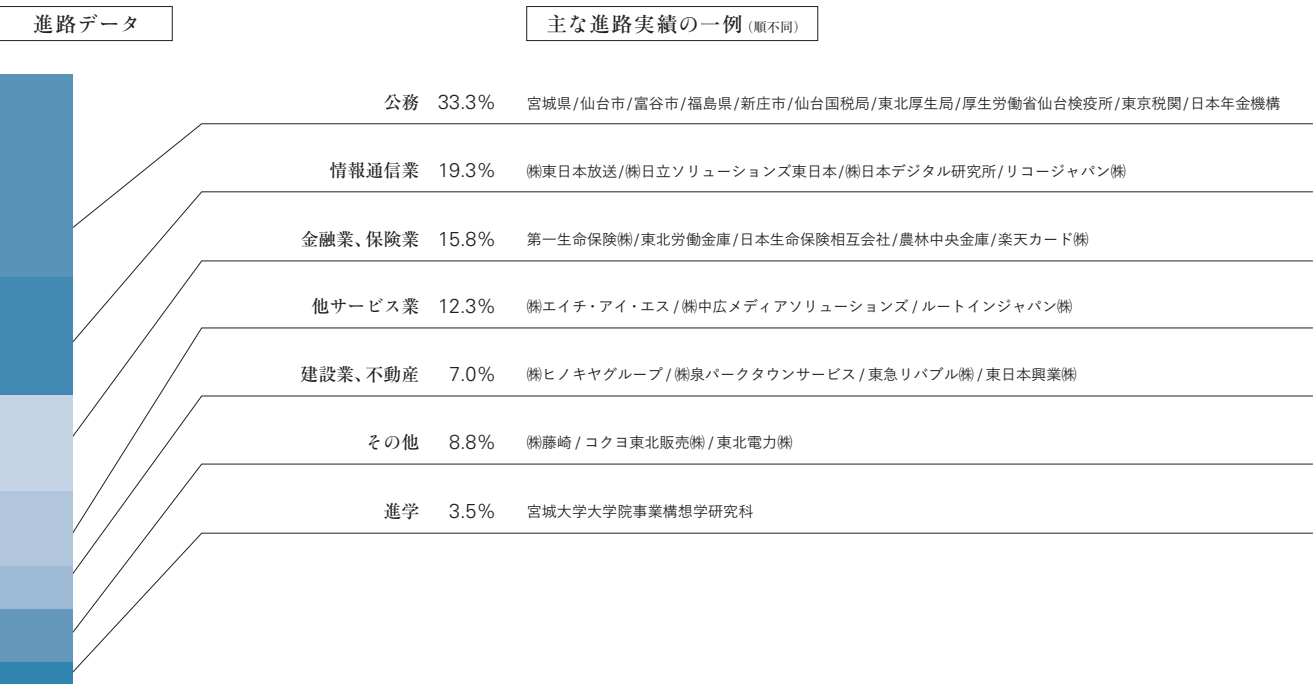
森林の多面的な機能を高めるため、県の補助事業による森林整備に取り組んでいます。申請書類の作成支援や事業管理のほか、県有林の管理、病害虫対策、里山整備の支援にも携わっています。在学中のゼミや講義を通して、森林が木材やきのこの生産だけでなく、土砂災害を防ぐなど多面的な役割を持つことを学びました。森林は県土の約6割を占めており、地域経済や地域社会に大きく貢献していると考え、この道を選びました。担当した造林の完了現場を見たときや、森林・環境学習で子どもたちが自然を楽しむ姿に触れたとき、仕事の成果を実感し、大きなやりがいを感じます。宮城大学はフィールドワークが充実しており、地域課題を分析する力と課題解決能力を身につけることができます。このフィールドワークの経験を通して、現地に足を運び、地域の人々との対話を重視するようになり、業務に生きています。



Graduates【卒業生の活躍】

地域創生学類

進路データ



進路データは、2026年3月31日現在 小数点以下第2位を四捨五入

価値創造デザイン学類



Creating “New Value & Design” for the Society.

情報・生活環境・建築のデザインを通して、新しい価値をどう生み出していくか

日々変化する社会環境を観察し、デザインが担う役割を学びながら、

多様な課題を解決へと導く論理的思考力と表現力を身につける

手を動かし、試行錯誤を重ねながら価値を創造する

私たちの世界はグローバル化や環境問題、そして AI・IoT・XR といった先進テクノロジーの進展により急速に変わりつつあります。ビジネス、ライフスタイル、さらには価値観までもが大きく変化する中で、私たちはどのようにして生活者一人ひとりの真のニーズを理解し、新たな価値を創造しているのでしょうか。

価値創造デザイン学類では、プロダクトや建築・空間、情報メディア・サービス・システムのデザインを学びながら、これらの問いに向き合います。デザインの理論と実践を深めることで、課題を発見し、現実的かつ創造的な解決策を見出して実装するスキルを身につけることができます。自ら手を動かして制作し、試行錯誤を重ねながら、新たな価値創造を探究していきましょう。



価値創造デザイン学類 学類長
太田賢教授

基礎理論からつくる技術、そして価値を生み出す実践力まで幅広く養う

1. 感性情報デザイン演習Ⅳ

ユーザーを意識した体験のデザイン
デジタル技術を用いたインタラクティブ作品の制作と学外での展示を通じて、デザインプロセスを統合的かつ実践的に学びます。

2. 生活環境デザイン演習ⅢA、ⅣA

実践で学ぶ、生活環境デザイン

生活環境に新たな価値をもたらすべく、建築空間の構想プロセスや表現技法などを学び、社会課題の解決に向けた実装に取り組みます。

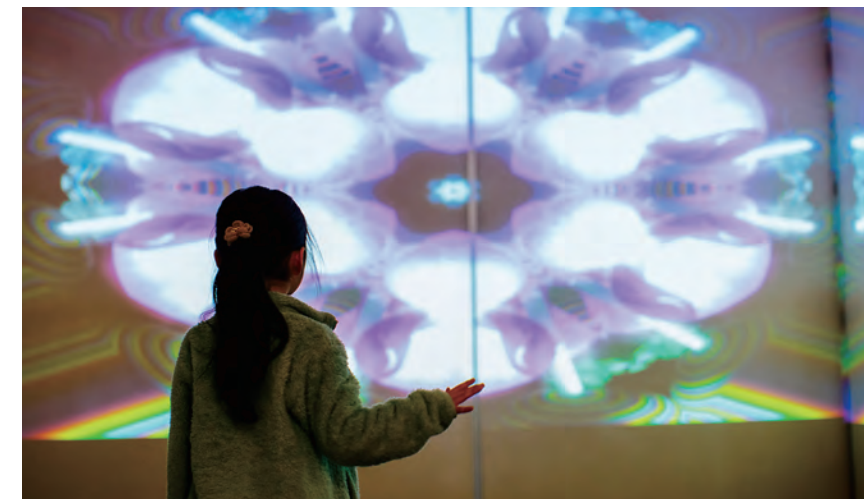
3. 生活環境デザイン演習ⅢB、ⅣB

パラメトリックデザイン手法で椅子制作

宮城県登米市産の杉材を用いて、CNC 加工機を駆使し、木製椅子を制作します。

一級建築士受験のための指定科目に認定

価値創造デザイン学類のカリキュラムが一級建築士の科目としての認定を受けました。これにより、所定の単位を修得すると、一級・二級・木造建築士を受験できます。



Student Voice



佐藤翔さん
宮城県気仙沼高校出身

技術を事業へつなぐ環境

研究室には多くのコンピューターがあり、所属に関わらず活用できます。私は講義課題で制作したサービスを研究室の PC をサーバーとして活用し学内で公開しました。環境は整っており、使うかどうかは自分次第です。興味や向上心を持って行動し、技術を事業へと結びつける力を磨いています。

制作設備・施設一覧

製図や模型製作が行える製図室／高性能 PC が整ったデザインラボ／レーザーカッターや 3D プリンタといったデジタルファブリケーション機器を備えたクリエイティブラボ／演習ではクリエイター向けソフト「Adobe Creative Cloud」や CAD が利用可能



永井秀幸研究室

モデル駆動型の建築・地域・都市デザインの研究拠点をを目指す

環境や防災、ウェルビーイングの観点から、社会課題と空間デザインの介入効果を多面的に可視化。AI 解析やシミュレーションを軸に、デジタルと実体模型を往復しながら将来像を検証します。論理的思考と直感的な表現を融合させ、根拠に基づく合意形成に向けた高度な提案力を養います。



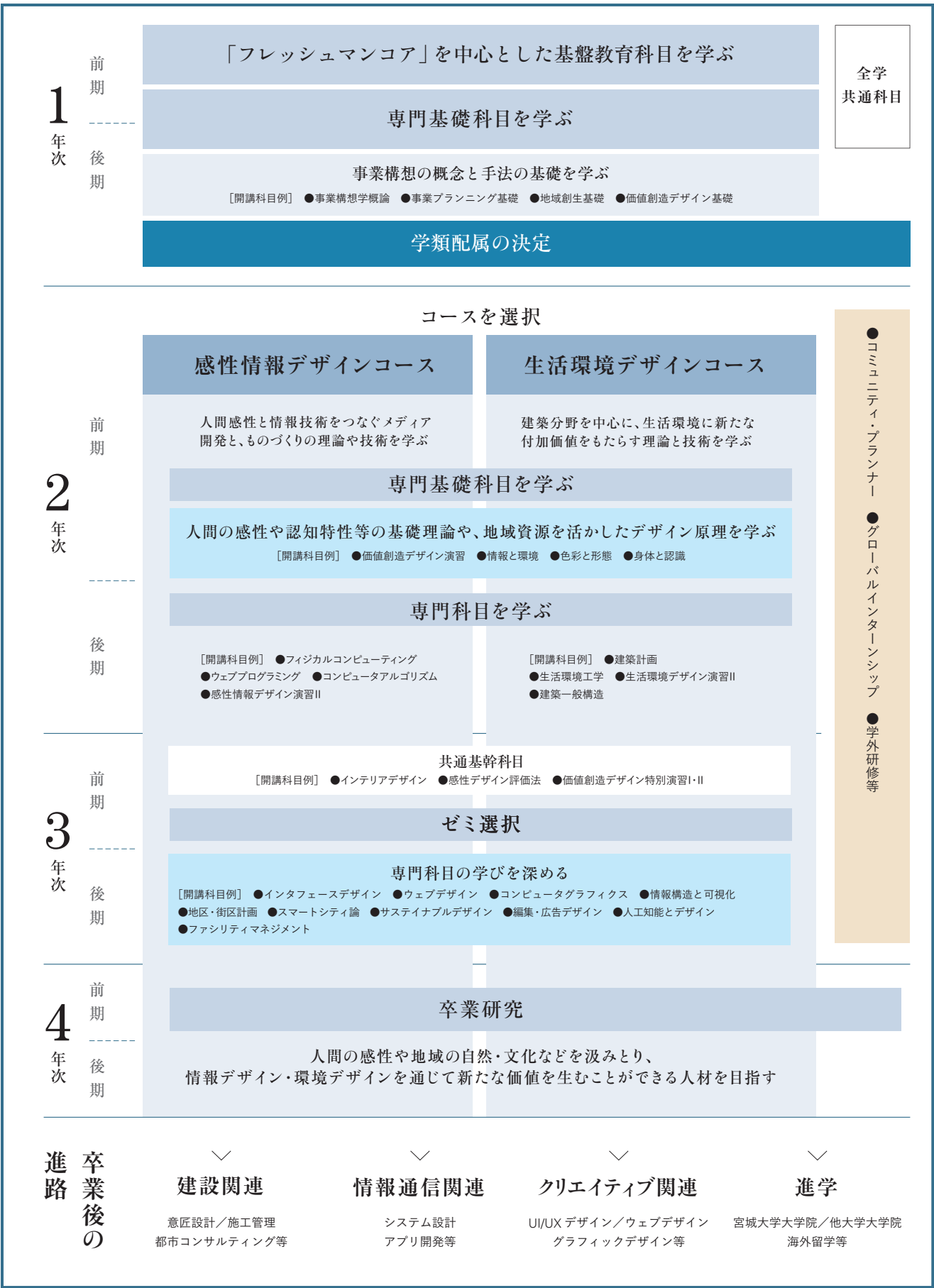
薄井洋子研究室

ICT×人の学びをデザインする

ICT とデザインを用いて学習者の学びを支援する研究を行っています。研究室では、学習者が目的や意志に応じて ICT を使うことで学び方や気づきがどう変化するのかを検証しています。学生は制作を通して、人の行動や気づきの変化を考えながら、実践的な学びや体験を探究しています。

価値創造デザイン学類：4年間の学び

Curriculum 【4年間の学び】

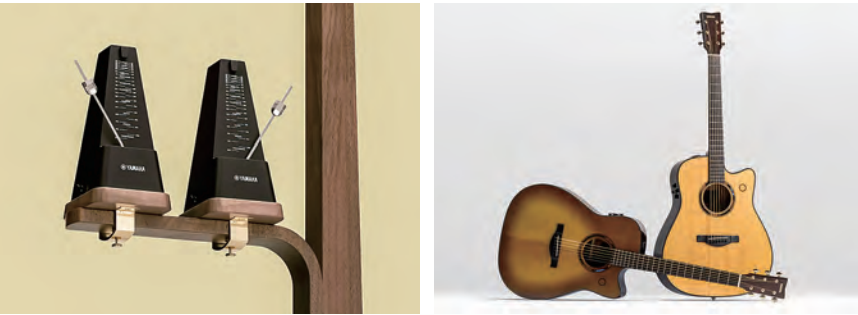


楽器に新たな世界観を
デザインで創造する

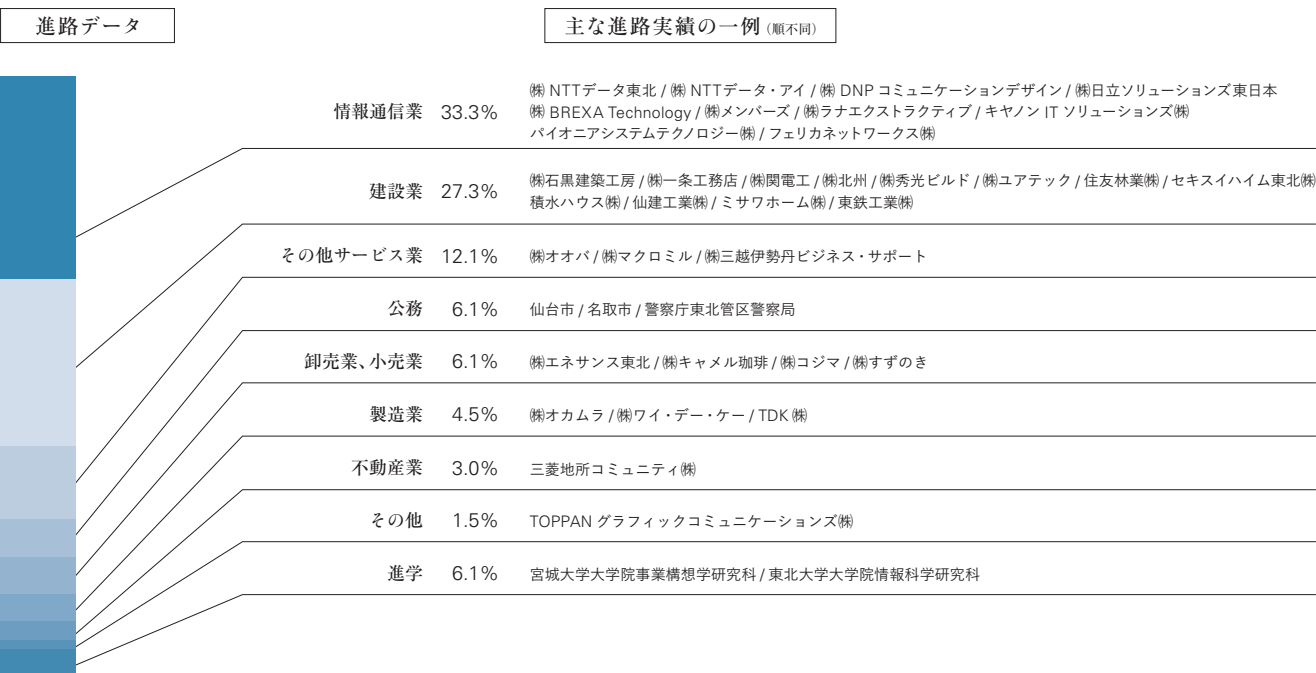
ヤマハ株式会社デザイン研究所
納富洸司さん（2016年3月卒業）

製品の外観デザインを担当しています。アコースティックギターやシンセサイザーを中心に、音響機器のデザインにも携わってきました。在学中、宮城大学卒業生による会社説明会に参加したことをきっかけに、インターンを経て入社しました。製品ごとに異なる世界観や魅力があり、毎回新鮮な気持ちでデザインに向き合っています。時間をかけて開発に携わった製品が発売され、実際に使われている姿を目にしたときは、大きな達成感と喜びを感じます。宮城大学は異なる学部との関わりも多く、一つの方針にとどまらず広範囲で興味関心を広げていけるのが魅力です。地域性を活かした独自の講義内容も特徴で、デザイン課題では企画やコンセプトを丁寧に練り上げることを大切にしています。その経験は、現在の製品デザインの土台となっています。今後も楽器デザイナーのプロフェッショナルとして精進していきます。

社会で活躍する卒業生



進路データ



進路データは、2026年3月31日現在 小数点以下第2位を四捨五入

Graduates 【卒業生の活躍】

価値創造デザイン学類

MYU SUPPORT FOR STUDENTS

学生みなさんが安心して大学生活を送ることができるよう、さまざまなサポート体制を用意しています。



適切かつ円滑な入学選抜を目指して アドミッションセンター

本センターは、入試に関する調査・研究、入試制度の検討及び策定、適切な入試の実施、さらに入試実施後の分析や受験生への情報提供等を全学的に担当し、本学の実践研究の充実と発展に寄与することを目的として設置されています。



豊かな大学生活をサポートします スチューデントサービスセンター

学生みなさんの大学生活を支援するセンターです。学内の生活支援はもちろん、サークル活動やアルバイト、ボランティアなど学外での生活についての支援も行います。大学生として一人ひとりが自主的・積極的に学生生活を送っていくことをサポートします。



健康で充実した学生生活を送るために 健康支援室（保健室・学生相談室）

学生の健康維持と増進のため、毎年定期健康診断を実施し、一次予防、二次予防の観点から個別指導も行っています。また、保健室と学生相談室は、大和、太白キャンパスにあり、健康相談や健康教育を提供し、心身の両面から学生生活を支援しています。



学術情報コンテンツの集積・発信から独自のソフト事業まで 学術情報センター（図書館）

図書や論文、視聴覚資料など学術資料の収集・提供を通じて本学の教育・研究・学修支援に取り組んでいます。学内の研究成果等を集積してデジタルアーカイブの構築も進め、学外に向けた情報発信にも力を入れています。



学生に寄り添ったキャリア形成支援 キャリア・インターンシップセンター

大学卒業後に地域や社会で活躍したい学生を支援するため、キャリア教育支援プログラムやインターンシッププログラムを提供します。また専門職員による進路相談や就職支援体制を整え、学生のキャリア形成に向けた活動をサポートします。



多様なステークホルダーと共創し地域の発展に貢献 研究推進・地域未来共創センター

宮城大学の全学横断的な教育・研究成果と、東北・宮城の多様な地域資源や人材を新たな発想で結びつけながら、新たな研究開発や地域未来共創プロジェクトを推進し、持続可能な地域社会の実現を目指します。



食産業学群

生物生産学類 入学定員 62 名

フードマネジメント学類 入学定員 63 名

入学者に求める能力

食産業学群では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

- (1) 食及び食を取り巻く環境に興味を持ち、自然科学の基礎知識を身につけている人
- (2) 論理的に考える力を修得し、食の安全・安心、環境との調和などの課題解決に取り組みたい人
- (3) 地域社会の一員として、さらには世界的な観点から食産業を考え、その発展に貢献しようとする人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

食産業学群では、食につながる生物生産とその供給から食品製造・流通・消費に至るまでのフードシステムについて幅広い専門的知識と技術を持ち、食産業全体を理解し、地域から世界まであらゆるレベルで食の未来を開拓できる意欲と能力を有する人材の育成を目指しています。

めざせる資格・免許等

- 食品衛生監視員
所定科目の単位を取得し、卒業後、所定の要件を満たした場合に取得可能
- 食品衛生管理者
所定科目の単位を取得し、卒業後、所定の要件を満たした場合に取得可能
- HACCP管理者
所定科目の単位取得により取得可能
- 食の6次産業化プロデューサー
所定科目の単位取得により、「わかる（知識）」のレベル2として認定

地域から世界まであらゆるレベルで食の未来を開拓する人材を育成

2025年に設置20周年の節目を迎えた食産業学群では、食材の生産・供給から食品製造・流通・消費に至る食産業全体の流れを理解し、文理の別にとらわれない幅広い専門的知識と技術を身につけて、地域から世界まであらゆるレベルで食の未来を開拓できる人材の育成を進めています。私たちの食を取り巻く情勢は常に変化しています。コロナ禍で食産業が置かれた状況はご存知の通りです。温暖化など自然環境が変化する中での食材生産はこれまでのよう

にはいきません。他国で起きている戦争・紛争によっても食の供給は不安定化します。高齢化と国際化が急速に進むわが国では、食のあり方も再考しなければなりません。このように食産業は多くの課題を抱える一方で、新たな食材・食品の開発やAI導入の可能性など、期待と希望に満ち溢れた分野でもあるのです。さあ、皆さんも宮城大学の食産業学群で共に学び、これからの食を切り拓いていこうではありませんか。



食産業学群 学群長
笠原紳教授

生物生産学類

入学者に求める能力

生物資源開発や生産環境技術、経営を通して、持続的な食料生産とその供給に強い関心を持ち、食産業の幅広い専門的知識と技術を身につけ、社会に貢献しようとする人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

地域の生物資源の高付加価値化や生産方法に関する知識・技術を養い、科学的素養に基づきながら地域資源を活用し国際的視点で食産業の課題を自発的に解決して、未来を開拓できる能力を育成します。

フードマネジメント学類

入学者に求める能力

食の製造・加工から流通・消費に至る食産業のプロセスについて、サイエンスとビジネスの両面において知識や技術を身につけ、社会に貢献しようとする人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

フードシステムの構築に必要なサイエンスとビジネスの両面の知識・技術を養い、科学的素養に基づきながら地域資源を活用し国際的視点で食産業の課題を自発的に解決して、未来を開拓できる能力を育成します。

生物生産学類



Committed to Bringing Innovations to the Farms of the Future.

今、“食”を支える農業は変革の時。バイオサイエンス、植物・動物・水圏生物の生産科学から

IoTやAIを活用する生産環境情報、生産ビジネスまで、食の生産を網羅する多様な分野を広く、深く学び、

生産のイノベーションで食の未来を創造する

新たな知識や技術によって切り拓く持続可能な食材生産

地球温暖化に伴う気象変動は災害を引き起こすだけでなく、気温上昇による作物収量の低下など食材生産にも悪影響を及ぼし始めています。生物生産学類では、今後の持続可能な食材生産として期待される、ゲノム情報を活用した農作物、家畜の品種改良やIoTやAIなどを活用したスマート農・畜・水産業、バイオエタノール等の資源リサイクル、食材の発展的ビジネスなどについても学べる

ように6つの履修モデルを設定し、柔軟なカリキュラムを展開しています。将来の進路に合わせて科目を選択することで、さまざまな生物の生産、ビジネスに関する最新の知識や技術を幅広く身につけることができます。生物生産学類で、おいしさや付加価値、環境負荷、ビジネスなどのさまざまな視点から食材生産を考え、一緒に食の未来を切り拓いていきましょう。



生物生産学類 学類長
岩井孝尚教授

座学に加え、実験・実習を通して体験することで、学びをより深める



露地園芸学

野菜・果樹の生産技術を詳しく解説

生理生態に関する最新知識や話題の品種はもちろん生産現場の課題と解決策を学びます。



動物遺伝育種学

能力の遺伝性を利用し生産性を高める!

動物の免疫力や生産力が高まるように、遺伝学に基づいたゲノム情報を駆使した品種改良法を学びます。



水産生物学実験実習

水棲生物の生理、生態を学ぶ

持続可能な水産業の実現に向けて水棲生物の増養殖に関する基礎知識や技術を学びます。



食材生産経営戦略論

農業経営の多様性を学ぶ

食材生産のイノベーション、マーケティング戦略の事例から農業の新しい形を探索します。



環境科学

食産業と環境科学について考える

食産業とのかかわりが深い環境問題を中心に、メカニズムや評価方法も含めて学びます。



生産環境情報学

環境とAIで学ぶ未来の生物生産

自然環境の保全からセンサやデータ・AIの活用、食の未来までを実例で学ぶ講義です。



Student Voice

生産を横断的に学び、専門性を深める

植物・動物・水産の生産プロセスと、それらを支える環境や設備・新技術なども学べるのが魅力です。複数分野を横断した学びで、興味を深めるだけでなく、多角的な視点が身につきました。選択次第で、専門性を磨くことも視野を広げることのできる環境です。現在はシソの生産方法を研究しています。



資源植物生産学研究室 (中村聡)

農作物の安定多収栽培法の確立を目指す

気候変動に対応した持続可能かつ多収な生産方法の確立を目指し、水稻、スイートソルガム、サトウキビを対象に栽培試験や形態調査を行っています。各作物の特性を活かした新たな栽培技術の開発を通じて得られた研究成果を地域社会へ還元し、地域農業の活性化に貢献していきます。



蔬菜(野菜)園芸学研究室 (齊藤秀幸)

園芸作物全般について幅広い視点で課題を探索

地域に密着した園芸作物や普及していない珍しい植物を対象に、生理生態的特性の解明と新たな栽培法の確立に取り組んでいます。さらに、歴史的文献の調査や遺伝的・生化学的解析を通じて素材の新たな魅力を発掘し、従来の常識にとらわれない活用方法を提案しています。

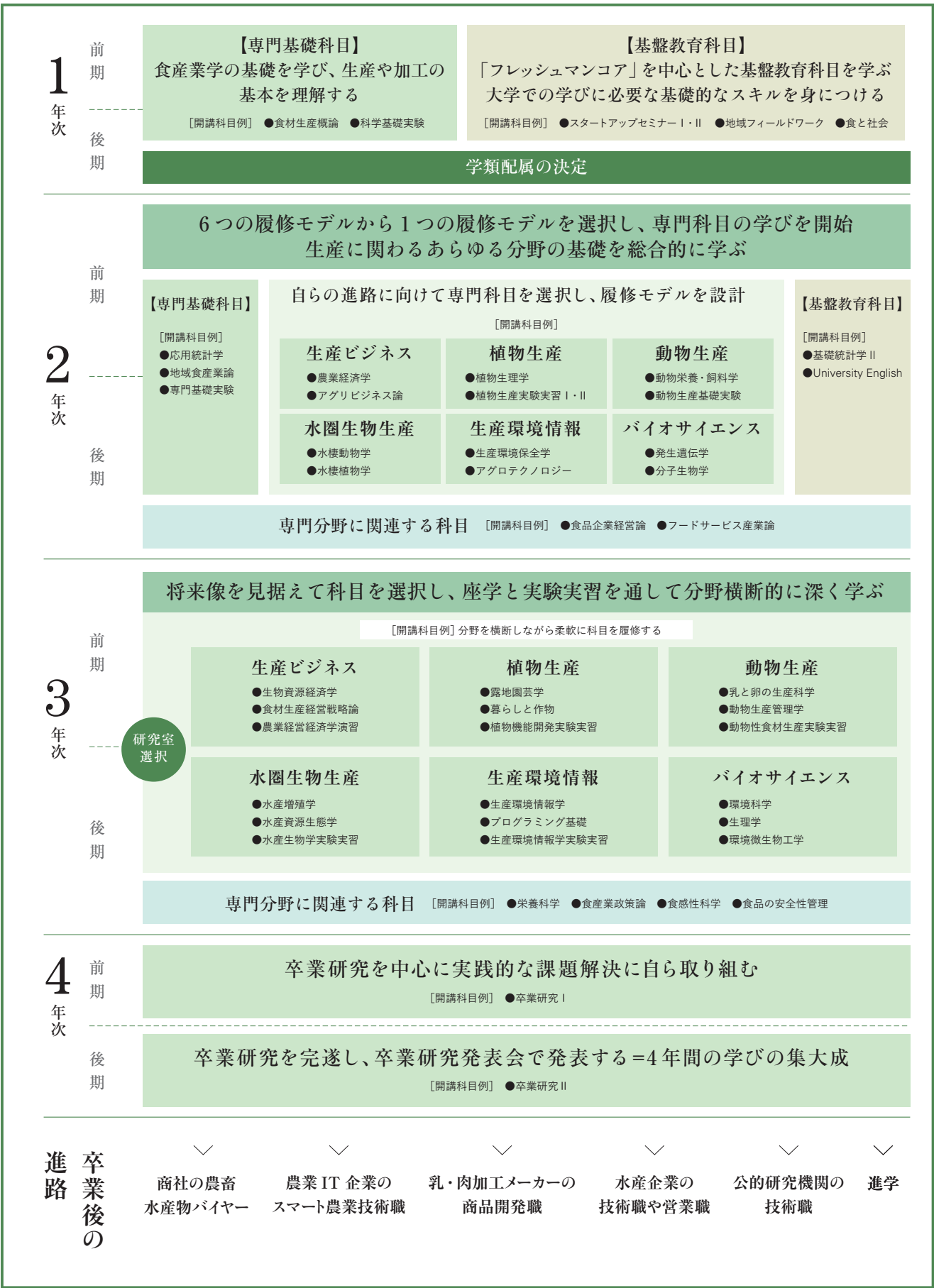
取得できる資格

食品衛生監視員
食品衛生管理者
HACCP管理者
食の6次産業化プロデューサー

所定科目の単位を取得し、卒業後、所定の要件を満たした場合に上記の資格が取得できます。

生物生産学類：4年間の学び

Curriculum
【4年間の学び】



フードマネジメント学類



Explore How Food Shapes Our Bodies, Society, and the World.

食は身体を作るだけでなく、時として世界を動かす。

最先端のサイエンスとビジネスの視点から食に関わる問題を徹底的に追及する

文系理系にとらわれない「食」を学ぶ ～将来を担う食のプロフェッショナルへ～

食べることは、人間が命をつなぐうえで欠くことができません。「何を食べるか」は私たちの健康や生活と深く関わっています。フードマネジメント学類では「食」に関わる生産や加工、流通・消費までを総合的に学び、食品分野のスペシャリストとなる力を身につけます。専門性の高い科目に加え、英語や化学などの基盤科目から「食」を科学的に理解する力を養います。

例えば、新商品を開発するためには化学成分や性質を理解する必要があり、その価値を消費者に伝えるためにも化学の知識が求められます。さらに企業と連携し、商品開発にも取り組むことで実践的な学びを深めています。卒業後は、技術がわかるメーカーや、市場・消費を理解した技術者として、食品関連分野を中心に社会で活躍できる人材を育成しています。



フードマネジメント学類 学類長
金内誠教授

マーケットのわかる技術者、技術のわかる marketer を育てる

1. 栄養科学

食生活と健康に有用な実用的学び

食品に含まれる栄養素の種類と働きや望ましい摂取、食事と健康・疾患予防について広く科学的見地から学びます。

2. 食品衛生学実験

「安全」は「食」の基本

アイスクリームの微生物検査や市販飲料の保存料分析など、実際に体験しながら食の安全について科学の目で学びます。

3. 食文化論

地域固有の食べ物語りの再発見

歴史という縦軸、地域という横軸に基づいて食の文化的特質を理解し、これからの食文化の継承や振興のあり方について考えます。

4. 食品マーケティング演習

食品マーケティングの実践を学ぶ

食産業を事例とした商品・コミュニケーション企画の立案に関して演習形式で学び、実践的なマーケティングに必要な知識を修得していきます。



越野七海さん
青森県立八戸東高校出身

Student Voice

実習と資格で描く、食の未来

食をテーマに、生産から加工・流通までを学べます。入学時に専門分野が明確でなくても、座学と実習を通して関心を深め、将来像を具体化できます。資格取得体制も整っています。現在は HACCP 管理者の資格取得を目指しています。将来は食品メーカーの品質管理部門で信頼される製品づくりを支えたいです。

取得できる資格

食品衛生監視員
食品衛生管理者
HACCP 管理者
食の 6 次産業化プロデューサー

所定科目の単位を取得し、卒業後、所定の要件を満たした場合に上記の資格が取得できます。



食品機能工学研究室 (庄子真樹)

分析と構造解析で、美味しさと健康機能を解明

食品の栄養・美味しさ・健康に関わる成分を網羅的に分析し、未知の成分の発見や体内での消化・吸収過程を詳細に解明します。また、その機能性を保持するよう工学的観点から食品を評価し、高度な加工技術を開発します。食産業での付加価値の高い商品開発に不可欠な分野です。



食品流通論研究室 (緩鹿泰子)

「食を支えるしくみ」を多角的に考える

食品の生産から消費に至るまでの一連の経済活動全体を通じて、現代の「食」について考えます。とくに、食品企業がどのような課題を抱え、それに対してどのように取り組み、今後発展していくかといった内容を学ぶ中で、各自が関心を持ったテーマについて研究していきます。

フードマネジメント学類：4年間の学び

Curriculum
【4年間の学び】

1 年次	前期	【専門基礎科目】 食産業学の基礎を学び、製造・加工や ビジネスの基本を理解する 【開講科目例】 ●科学基礎実験 ●経済経営学基礎	【基盤教育科目】 「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ 大学での学びに必要な基礎的なスキルを身につける 【開講科目例】 ●スタートアップセミナーⅠ・Ⅱ ●地域フィールドワーク ●食と社会
	後期	学類配属の決定	
2 年次	前期	自分の関心や目的に応じて専門基礎科目や専門科目を柔軟に選択し、 理論と実験実習を通してフードマネジメント全体の基礎的分野を身につける	
	後期	【専門基礎科目】 【開講科目例】 ●食品マーケティング基礎 ●地域食産業論 ●分析基礎実験	【専門科目】 【開講科目例】 ビジネスとサイエンスの両分野について履修する ●食料経済論 ●食品工学 ●有機化学 ●農産食品学 ●食品企業経営論 ●フードサービス産業論 ●生化学 ●食品化学 ●食品企業組織論 ●食品流通論 ●食品貯蔵・流通技術論
3 年次	前期	4つの履修モデルを参考に自分で専門科目を選択し、学びを自分向けにカスタマイズ フードマネジメントの専門分野をより深く学ぶ	
	後期	研究室選択	【開講科目例】 ビジネスとサイエンスの両分野について履修する ●食品化学工学 ●食品機能開発学 ●食産業政策論 ●食品マーケティング論 ●発酵食品・醸造学 ●栄養科学 ●食品情報科学論 ●フードサービス事業運営論 ●微生物学実験 ●食品栄養・機能学実験 ●食品の安全管理 ●食品企業経営戦略論 ●品質保証システム演習 ●フードシステム調査演習 ●フードコミュニケーション ●食品経済・政策論演習
4 年次	前期	ゼミでの卒業研究を中心に実践的な課題解決に自ら取り組む 【開講科目例】 ●卒業研究Ⅰ ●食文化論 ●食産業・政策史 ●企業倫理 ●ライフステージ栄養学	
	後期	卒業研究を完遂し、卒業研究発表会で発表する＝4年間の学びの集大成 【開講科目例】 ●卒業研究Ⅱ ●食と未来	
進路		卒業後の進路	進学
		食品製造業、食品流通業およびフードサービス産業における技術・製造開発者	食品製造業や外食産業などで新商品の企画や開発を行う技術者・プランナー
		食品リサイクル、食品ロス、SDGsなどについて取り組むビジネスリーダー	食品製造業、食品流通業およびフードサービスで活躍するビジネスリーダー

食の幅広い学びを活かし
採用の現場で活躍する

株式会社グリーンデリカ
古山里美さん（2013年3月卒業）

人事と給与関連を担当し、採用活動や新入社員の研修、制度変更への対応、予算資料の作成を行っています。製造には直接携わりませんが、会社説明や学生からの質問に答えるため、さまざまな部署の業務を理解しておく必要があります。説明会に参加した学生が応募してくれたとき、大きなやりがいを感じます。昔から食べることが好きで、さまざまな角度から食を学べる宮城大学を志望しました。食材の生産から加工、流通まで幅広く学べることで、選択肢を広げられることが魅力です。この学びのおかげで、担当外の業務についても一定の知識をもって社内外とやり取りができています。学生時代は化学系の研究室でしたが、説明会で担当外の業務について聞かれることも多く、幅広い知識が役立っています。今後は部署を超えた社内交流を活発化させ、業務理解を深めることで、会社についてさらに詳しくなりたいと考えています。

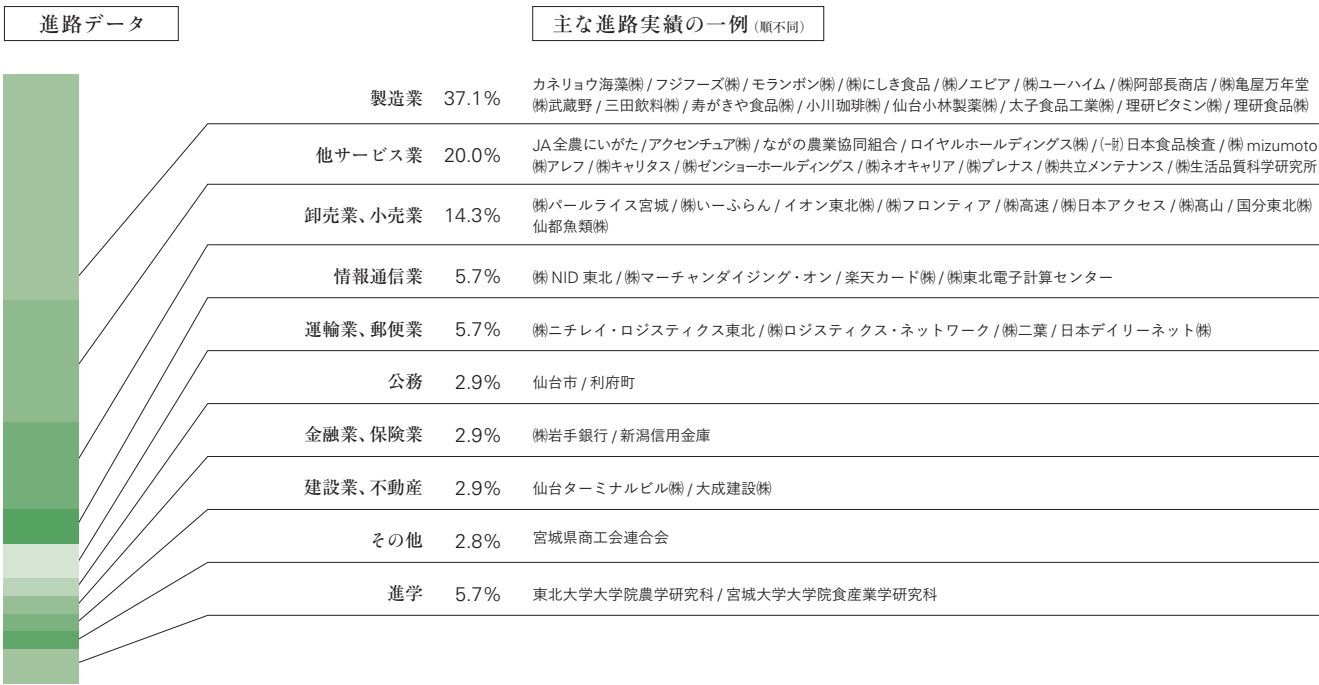
社会で活躍する卒業生



Graduates
【卒業生の活躍】

フードマネジメント学類

進路データ



進路データは、2026年3月31日現在 小数点以下第2位を四捨五入

国際交流・海外ネットワーク

PUSH, PULL, and GROW.

国際交流は、①学生を海外の多文化空間に（PUSH）、②留学生・多文化空間を宮城大学に（PULL）、そして、③海外だけでなく日本のキャンパスでも多文化理解力を醸成する（GROW）、これらをコンセプトに学生が教職員とともに「ワクワク感」をもってグローバル・ステージで活躍できるよう国際交流を進めています。このように、宮城大学では、協定校をはじめとした海外留学、海外からの留学生の受け入れ、キャンパス内に設置したグローバルcommonsでの多文化交流などを通して、1年中「グローバル」を体験することができます。



主な国際交流・海外学修プログラム



アンバサダープログラム

トゥルク応用科学大学（フィンランド）やカリフォルニア州立大学サンバーナーディーノ校（米国）、サザンクロス大学（オーストラリア）、トリノ大学（イタリア）など海外協定校で1学期もしくは1年程度、原則として本学での専攻を生かした教育プログラムを履修できます。英語コミュニケーションスキルの向上のみならず、現地の文化や習慣、専攻分野での知見を深め、将来グローバル・ステージで活躍できる有能な人的資源として必要な能力を獲得することを目指します。



リアル・アジア

マレーシア、オーストラリア等で約2週間、協定校大学などにおいて、英語・文化研修を実施するほか、現地企業 / 組織訪問を行います。単なる英会話ではなく、英語を通して現地の社会経済状況を学修し、PBL（問題解決型学習）の手法なども活用しながら実践的なプログラムを構築しています。この短期研修を体験することで、社会でも通用する積極性や協調性、グローバルコミュニケーション能力などを養います。

大学院 Graduate School

学びをさらに深め、高度な研究能力を養う充実した環境があります。

	看護学研究科	事業構想学研究科	食産業学研究科
博士前期課程	看護学専攻 研究能力養成コース 専門看護師養成コース	事業構想学専攻 ビジネスデザイン領域 ソーシャルデザイン領域 空間デザイン領域 情報デザイン領域	食産業学専攻 食品イノベーション領域 食品ビジネスマネジメント分野／食品技術開発分野 農・環境イノベーション領域 生物生産分野／生産環境分野
博士後期課程	看護学専攻 生涯健康支援看護学分野	事業構想学専攻 ビジネスデザイン ソーシャルデザイン 空間デザイン 情報デザイン	食産業学専攻 食品研究領域 農・環境研究領域

学生数

学群	学類	1年	2年	3年	4年	合計
看護学群	看護学類	98	103	96	106	403
事業構想学群	学類未配属者	191				191
	事業プランニング学類	10	65	68	63	206
	地域創生学類	10	66	68	63	207
	価値創造デザイン学類	9	90	90	83	272
食産業学群	学類未配属者	116				116
	食資源開発学類	0	1	3	8	12
	フードマネジメント学類	9	69	64	74	216
	生物生産学類	10	69	62	62	203
		合計 1,826				

大学院	課程	1年	2年	3年	合計
看護学研究科	博士前期課程	8	6	－	14
	博士後期課程	3	1	4	8
事業構想学研究科	博士前期課程	17	16	－	33
	博士後期課程	2	3	4	9
食産業学研究科	博士前期課程	10	11	－	21
	博士後期課程	2	1	1	4
		合計 89			

※2025年度学校基本調査から学群生・大学院生を抜粋

入学金・学費・奨学金

学費・入学時における学生諸経費（2026年度実績）

入学金	県内出身者 県外出身者	282,000円 564,000円
入学時 学生諸経費	看護学群 事業構想学群 食産業学群 ※研究科(保険料のみ)	69,092円 46,160円 46,160円 2,430円～13,500円
授業料	年額 納付時期	535,800円 (前期・後期、半額ずつ納付) [前期] 5月31日 [後期] 11月30日

授業料の減免等制度（2026年度時点）

減免（本学独自制度）	一定基準以上の成績及び経済的要件を満たす場合、申請により、全額又は半額免除される場合があります。なお、申請条件を設けておりますので、すべての学生が対象とはなりません。
分割納付	経済的理由で授業料の一括納付が困難な場合、申請により、分割納付を認める場合があります。
納付猶予	経済的理由で授業料を指定納期までに納付することが困難な場合、申請により、納付猶予を認める場合があります。

宮城大学は、高等教育の修学支援新制度の対象校です。

【高等教育の修学支援新制度：https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm】

奨学金制度（独立行政法人日本学生支援機構奨学金）

独立行政法人
日本学生支援機構
奨学金

高校等での予約採用以外は、毎年4月に説明会を行い、奨学生を募集します。貸与金額等の詳細は、日本学生支援機構Webサイトをご確認ください。

日本学生支援機構Webサイト

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html

※貸与期間：採用年度から標準修業年まで。

その他の奨学金

各種団体等の奨学金は、随時学内掲示板等でお知らせします。



大和キャンパス

大和キャンパスは、自然と共生し、地域に開かれた大学としてデザインされています。人が自然とふれあう泉パークタウンや、県内有数の工業エリアである大和リサーチパークに隣接しています。近隣には県立図書館や産業技術総合センターなどの施設もあり、研究に最適な環境です。



①本部棟 ②ブリッジ棟 ③デザイン研究棟 ④エントランス広場 ⑤交流棟 ⑥体育館 ⑦サークル室棟 ⑧材料実験棟 ⑨グラウンド ⑩北側駐車場

太白キャンパス

太白キャンパスは、太白山山麓の住宅街に位置し、学内農場である旗立農場を擁する自然豊かなキャンパスです。近隣の附属坪沼農場を含めた個性豊かな教育施設群の中で、様々な視点から「食」を学ぶことができます。



①体育館 ②多目的グラウンド ③レストラン棟 ④南サークル棟 ⑤北サークル棟 ⑥動物代謝棟 ⑦動物実験棟 ⑧駐車場 ⑨管理棟 ⑩学生会館メモリアルホール40 ⑪多目的ホール ⑫講義棟 ⑬ガラス温室 ⑭グラウンド ⑮実験棟 ⑯南研究棟 ⑰北研究棟 ⑱食品加工棟 ⑲水利実験棟 ⑳リサイクル棟 ㉑材料実験棟 ㉒水産実験棟



OPEN CAMPUS 2026

MYU OPEN CAMPUS 2026

7/19 太白キャンパス 食産業学群
7/26 大和キャンパス 看護学群・事業構想学群

※日程や開催方法に変更がある場合、本学Webサイトでお知らせします。追加コンテンツも順次公開していきます。



大和キャンパス

大学本部／看護学群／事業構想学群
大学院看護学研究科／大学院事業構想学研究科

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1
宮城大学事務局（大学全般）Tel 022-377-8205（代表）Fax 022-377-8282

○仙台市地下鉄
南北線「仙台駅」から約15分、「泉中央駅」下車。バスに乗り換え

○バス利用
「泉中央駅」バスプール3番又は6番から、宮城交通バス「泉パークタウン」行き（宮城大学経由）で約30分～35分、「宮城大学・仙台総合医療大学校前」下車

「仙台駅前」バスプール2番から、宮城交通バス「宮城大学」行き約50分、「宮城大学・仙台総合医療大学校前」下車

太白キャンパス

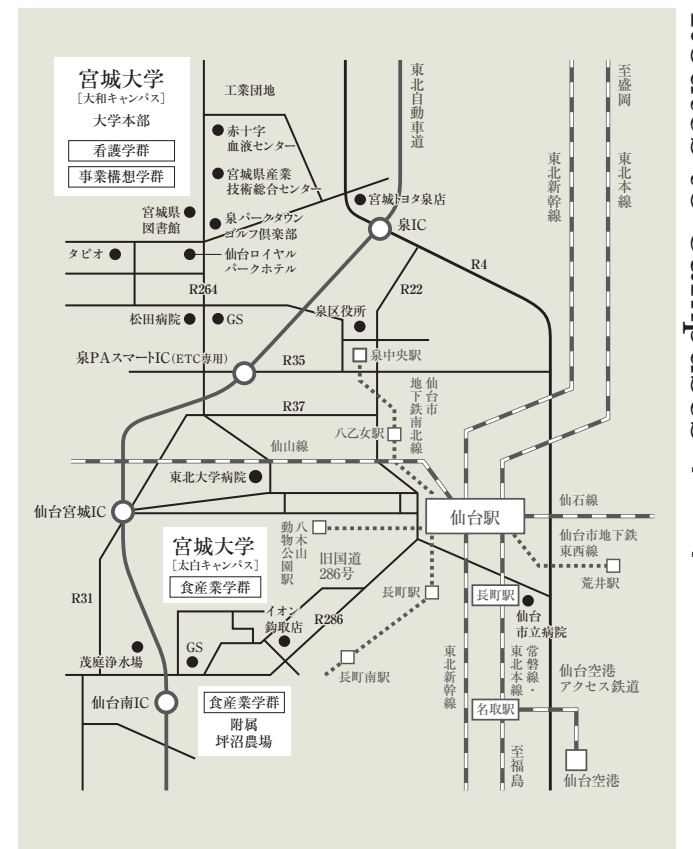
食産業学群／大学院食産業学研究科

〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立二丁目2番1号
宮城大学事務局（太白事務室）Tel 022-245-2211（代表）Fax 022-245-1534

○仙台市地下鉄
南北線「仙台駅」から約10分、「長町南駅」下車。バスに乗り換え

○バス利用
「長町南駅・太白区役所前」バスプール4番から、宮城交通バス「日本平」行き、「仙台南ニュータウン」行き、「茂庭台」行きで約20分、「宮城大学太白キャンパス前」下車

「仙台駅前」バスプール7番から、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きで約40分、「宮城大学太白キャンパス前」下車



Routes to Campuses (アクセス)

宮城大学 大学案内 2027
企画・編集：宮城大学 広報ワーキンググループ/デザイン：株式会社フロット
撮影：渡辺然・布施果歩・佐藤鈴華 (Strobelight)、佐藤早苗
印刷：株式会社フロット



宮城大学大学案内「MYU GUIDE」を含めた、「宮城大学広報ツールのトータルデザイン」は、2021年度グッドデザイン賞を受賞しました。





宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY